木戸病院医誌

2016　VOL. 15

新潟医療生活協同組合
木戸病院
HEALTH CO-OP NIIGATA SINCE 1975

木戸病院の理念

協同互助の精神に基づき、組合員、地域住民の
医療・保健・衛生・福祉の向上を図る

基　本　方　針

1）生涯にわたる健康管理活動の支援

2）生活習慣病の予防と早期発見

3）「患者の権利章典」の豊かな実践

4）診療情報の開示

5）全人的医療を指向

目　　次

Ⅰ．巻頭言

病院長　津 田 隆 志 …… 1

Ⅱ．病院概要

1．基本情報 …… 2

2．施設基準 …… 2

3．沿革 …… 6

4．院内のご案内 …… 8

Ⅲ．2015年度臨床指標・診療実績 …… 13

Ⅳ．2015年度活動報告・研究業績

1．診療部

一般内科 …… 17

循環器内科 …… 18

呼吸器内科 …… 20

糖尿病内科・内分泌内科 …… 22

腎臓内科 …… 25

消化器内科 …… 27

神経内科 …… 28

小児科 …… 30

産婦人科 …… 32

外科 …… 33

整形外科 …… 35

泌尿器科 …… 36

皮膚科 …… 38

耳鼻咽喉科 …… 43

眼科 …… 45

放射線科 …… 46

歯科・口腔外科 …… 47

石山診療所 …… 49

木戸クリニック …… 51

2．看護部 …… 52
3．医療安全管理室 …… 54
4．薬剤部 …… 57
5．診療技術部
検査科 …… 59
病理検査科 …… 60
放射線科 …… 61
リハビリテーション科 …… 63
栄養科 …… 64
臨床工学科 …… 67
6．事務部 …… 69
7．地域包括部 …… 70
8．健診センター …… 72
9．研究部 …… 73

Ⅴ．その他活動状況等
1．院内研究会・研修会・講習会・講演会 …… 77
2．看護部研修会 …… 80

Ⅵ．退院患者疾病統計表 …… 89

Ⅰ. 巻　頭　言

病院長　津　田　隆　志

今年も木戸病院医誌を皆さまにお届けしたいと思います。今後共、御支援を宜しくお願い致します。

木戸病院では昨年度から、５年前の新病院移転時に確定した「木戸病院のめざす医療」の再検討・再構築を行っております。

新築移転時の木戸病院は、東新潟地域の急性期総合病院として「地域の信頼に応える医療の確立と健康づくり拠点病院をめざす」をコンセプトに決め、医療活動を展開してきました。

ところで、皆さんも御存知の様に、少子高齢化社会の進行の中で、医療事情も変わってきております。東新潟地域、その中心である東区を見てみますと、人口は14万近くあります。人口減少は僅かですが、独居を含む世帯数はむしろ増加しております。国は数年前から、在宅医療を重視した地域完結型医療システムとして、「地域包括ケアシステム」を提唱しております。医療機関に対しては「地域医療構想」の下で、2025年までに急性期病棟の削減を主体とした病床機能の適正化を図ろうとしています。

昨年11月から、木戸病院では、急性期医療後の患者さんに充分なリハビリを提供するための「回復期リハビリ病棟」と、医療依存度が高く在宅復帰までに時間がかかる患者のための「療養病棟」を開設致しました。そして、救急や手術に対応する急性期病棟は10：１から７：１の看護体制に強化致しました。更に、今年５月からは、在宅復帰に力を入れるため、「療養病棟」を「地域包括ケア病棟」に転換して運用しております。

今年度、木戸病院の基本方針を、「木戸病院が、東新潟地域の中核病院として、地域包括ケアの要になる」に決めました。木戸病院が、急性期医療から回復期医療までを担い、更には慢性期医療・在宅診療への橋渡しも行いたいと考えております。新潟医療生協には、木戸病院の他にも、診療所、老健、サ高住を始め、医療･介護の各種事業体があります。これらのネットワークを生かして、「新潟で一番、安心と信頼ができる地域包括ケアを、皆さんと一緒に作りたいと考えております。

ところで、先日、第20回東新潟循環器研究会が新潟市内のホテルを会場に開催されました。平成17年９月に第１回をスタートしました。当時は、木戸病院循環器内科医師と地域の開業医の先生方との「顔が見えて、お互いに紹介し合える病診連携がしたい」との強い思いで企画させていただきました。それから10年間、毎年２回開催し、テーマを決めた症例検討会や、関心あるテーマの講師を呼んでの特別講演会を企画してきました。会を重ねる毎に、新しい参加者も増え、開業医からの症例発表も増えていきました。病院勤務医からは、常に新たな情報発信を行ってきました。当初の目的であった開業医と病院勤務医の間で顔が分り、お互いに紹介し合える関係が構築出来たと感じております。また、新たな知見を加えた共通認識を持つことにより、地域医療の発展に寄与しているとの実感を持つことが出来ました。東新潟循環器研究会は、今回で終了させていただきましたが、今後は、150名以上となった当院の登録医の先生方全員を対象にした、「木戸病院登録医会議（仮称）」を企画しながら、更に「顔の見える病診連携」を追及したいと考えております。どうぞ御指導を宜しくお願い致します。

II. 病院概要

1. 基本情報

病　院　名　　新潟医療生活協同組合　木戸病院
開 設 者 名　　鈴木　克夫（新潟医療生活協同組合　理事長）
病 院 長 名　　津田　隆志
副 院 長 名　　山田　　明
　　山口　利夫
開設年月日　　昭和51年５月６日
病　床　数　　一般病棟：４病床208床（一般病床※緩和ケア病床含む）
　　地域包括ケア病棟：１病棟54床
　　回復期リハビリ病棟：１病棟50床
所　在　地　　〒950-0862　新潟県新潟市東区竹尾４丁目13番３号
　　TEL：025－273－2151（代表）
　　FAX：025－273－8360

診 療 科 目（26科目）
　　内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、外科、消化器外科、整形外科、精神科、アレルギー科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、麻酔科

看 護 基 準　　一般病棟入院基本料７：１
　　回復期リハビリ病棟入院基本料２

2. 施設基準

《初診・再診料》
　　地域歯科診療支援病院歯科初診料
　　歯科外来診療環境体制加算
　　歯科診療特別対応連携加算

《医学管理》　　透析液水質確保加算２
　　糖尿病透析予防指導管理料
　　院内トリアージ実施料
　　糖尿病合併症管理料
　　がん性疼痛緩和指導管理料

がん治療連携指導料1
がん患者指導管理料１
小児科外来診療料
ニコチン依存症管理料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料１
在宅患者歯科治療総合医療管理料
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
外来化学療法加算１
無菌製剤処理料

《手術　等》　歯科技工加算
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
大動脈バルーンパンピング法（ＩＡＢＰ法）
歯周組織再生誘導手術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
人工肛門、人工膀胱造設前処置加算
輸血管理料（Ⅱ）
麻酔管理料（Ⅰ）
輸血適正使用加算
胃瘻造設術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
酸素加算
硬膜外自家注入

《検　　査》　ＨＰＶ核酸検出
検体検査管理加算（Ⅱ）
皮下連続式グルコース測定
内服・点滴誘発試験
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
持続血糖測定器加算
コンタクトレンズ検査料３

《画　　像》　ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影

《リハビリテーション》

脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）
運動器リハビリテーション（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
がん患者リハビリテーション料
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

《入 院 料》　一般病棟入院基本料（７対１）
回復期リハビリテーション病棟入院料２（４階病棟）
地域包括ケア病棟入院料１（８階病棟）
診療録管理体制加算２
医師事務作業補助体制加算２（15対１）
急性期看護補助体制加算（50対１）
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
退院支援加算２
医療安全対策加算１
感染防止対策加算１
患者サポート体制充実加算
ハイリスク妊娠管理加算
総合評価加算
データ提出加算２
病棟薬剤業務実施加算１
小児科入院医療管理料５

《歯　　科》　歯科治療総合医療管理料
クラウン・ブリッジ維持管理料
歯科口腔リハビリテーション料２

《そ の 他》　入院時食事療養（Ⅰ）
食堂加算

学会指定施設　日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本外科学会認定医制度修練施設

日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本産婦人科学会認定医制度卒後研修指導施設
日本肝臓学会関連施設
日本消化器病学会関連施設
日本皮膚科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会ＮＳＴ稼働施設
マンモグラフィ検診施設
日本透析医学会専門医制度　新潟大学歯学総合病院教育関連施設

指定医療機関　臨床研修病院
歯科臨床研修病院
救急指定医療機関
健康保険法指定医療機関
国民健康保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
優生保護法指定医療機関
結核予防法指定医療機関
原爆医療法指定医療機関
身体障害者福祉法指定医療機関
日本病院会、短期人間ドック指定
厚生医療指定医療機関
育成医療指定医療機関
在宅酸素療法指定管理施設
労働者災害保障保険医療機関
新潟県肝疾患診療協力病院

新潟医療生活協同組合事業所

木戸病院
・健診センター
石山診療所
・訪問介護センターすみれ
・ケアプラン石山
・小規模多機能型居宅介護　赤いふうせん
なじょも
・木戸クリニック
・訪問介護センターなじょも
・訪問看護ステーションなじょも
・ディサービスセンターなじょも
・ショートステイなじょも

・通所リハビリテーションなじょも
・サービス付き高齢者向け住宅CO-OPなじょもガーデン
・学童クラブなじょも
・在宅介護支援センターあしぬま荘（社会福祉法人　亀田郷芦沼会運営）
・新潟市地域包括支援センター木戸・大形（社会福祉法人　亀田郷芦沼会運営）

介護老人保健施設ほほえみの里きど
COOP健康づくりクラブwithウィズ
病児保育室「きどっこ」
院内保育所「いちご畑」

関連事業所　亀田郷芦沼会
・特別養護老人ホーム　あしぬま会
・特別養護老人施設　風の笛
・ディサービスセンター　あしぬま
・ショートステイ　あしぬま
・在宅介護支援センター　あしぬま荘
・知的障害者通所授産施設　ほがらか福祉園
・小規模多機能型居宅介護ふもとの奏

協力施設　特別養護老人施設　あしぬま荘
特別養護老人施設　風の笛
介護老人保健施設　有楽園
介護老人保健施設　アビラ大形
逢谷内デイ・サービスセンター
グループホーム　大形
グループホーム　おおやちの家
介護老人福祉施設　あわやまの里
介護老人保健施設　松浜さくら園
地域密着型福祉施設　徳蓮荘

3．沿革

昭和50年２月　新潟医療生活協同組合設立許可
昭和51年５月　木戸病院開院（病床数：88床）
診療科：内科、神経内科、循環器科、小児科、皮膚科、歯科
昭和53年４月　RI室開設、病床数：85床に変更
昭和54年５月　二期工事竣工（病床数：171床）
昭和54年６月　新館での外来診療開始
診療科：内科、神経内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、肛門科、小児科、

皮膚科、理学診療科、放射線科

昭和59年８月　300床総合病院化計画に着手

昭和60年11月　木戸病院分館新築工事竣工

昭和60年12月　病床数を178床に変更

昭和61年４月　三期工事竣工（病床数：312床）

整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科診療を開始現在の19診療科となる

平成３年　透析ベッド増設、リハビリ施設充実、高橋眼科跡地を事務管理棟に改築

平成５年５月　心臓カテーテル室完成

平成５年12月　四期工事竣工（健診センター）

平成８年３月　石山診療所歯科を病院と統合

平成９年７月　ＭＲＩ導入

平成13年10月　日本医療評価機構より認定（一般Ｂ認定取得）

平成16年４月　厚生労働省より臨床研修病院指定

（新潟大学医歯学総合病院、富山医科薬科大学）、透析室増床（25床→29床）

平成16年５月　当日外来電話予約システムを開始

平成22年１月　電子カルテ稼動

新病院工事着工

平成23年７月　東区竹尾にて新病院開院

診療標榜科（一般内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、内分泌内科腎臓内科、消化器内科、神経内科、心療内科、精神科、小児科、産婦人科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科）

平成24年４月　病院敷地内に病児保育室「きどっこ」開設

平成24年９月　日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.６を受審

平成24年12月　日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.６に認定

平成25年４月　旧病院敷地に複合施設「なじょも」開設

平成25年４月　木戸病院　院長に阿部　要一が就任

平成25年６月　新潟医療生活協同組合理事長に矢田　省吾が就任

平成26年９月　基幹型臨床研修病院指定

平成26年10月　複合施設「なじょも４号館・５号館」が開設

平成27年４月　木戸病院　院長に津田　隆志が就任

平成27年６月　新潟医療生活協同組合理事長に鈴木　克夫が就任

4．院内のご案内

木戸病院　〒950-0862　新潟県新潟市東区竹尾４丁目13－３
TEL．025－273－2151(代)　FAX．025－273－8360
木戸病院ホームページ　http://kido.iryo-coop.com

診療受付・診療時間・面会時間・休診日

診療受付／外来の受付は下記の予約センターをご利用ください。
フリーダイヤル　0120－432－472
携帯電話・公衆電話からは　025－273－2175

診療時間／午前９：00～午後５：00
第２・第４土曜日　午前９：00～午後12：30

休 診 日／日曜、祝祭日、第１・３・５土曜日

午後休診／毎週木曜日、第２・第４土曜日

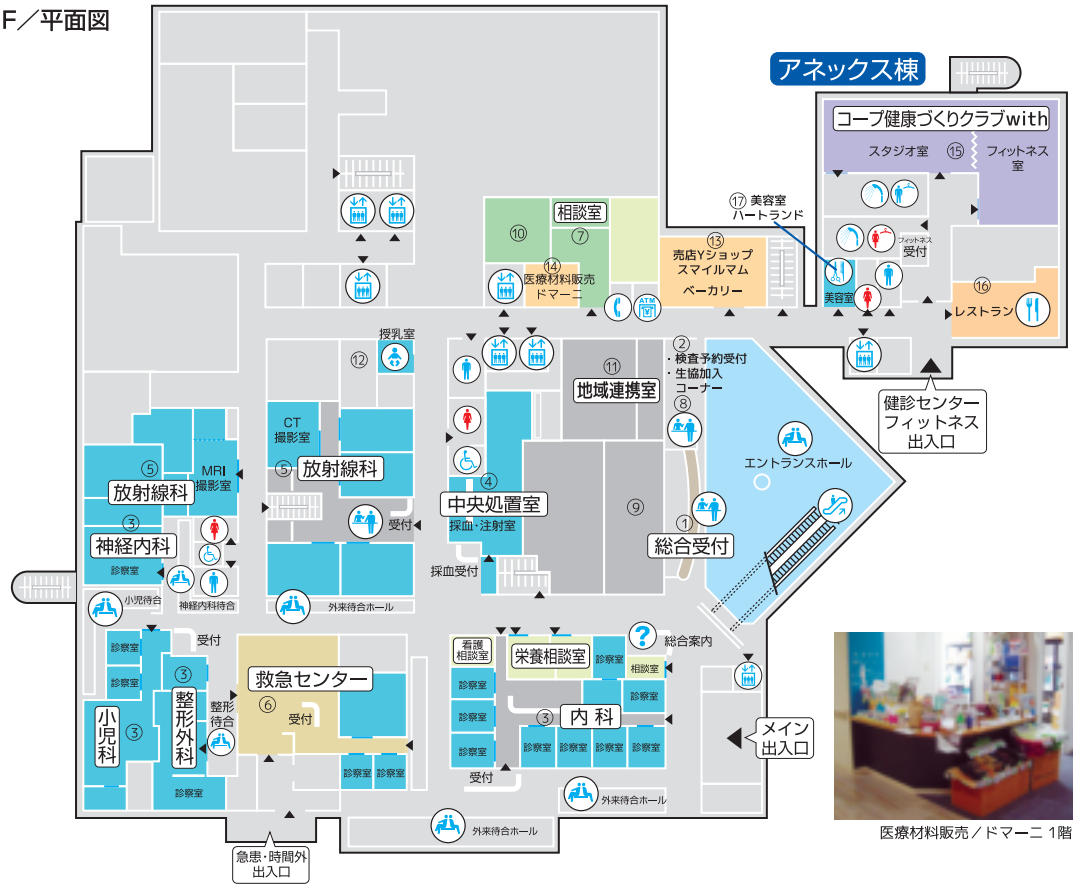
面会時間／全日
（一　　般）午前11：00～午後８：00
（産婦人科）午前11：00～午後１：00　午後４：00～午後８：00

1階のご案内

1F

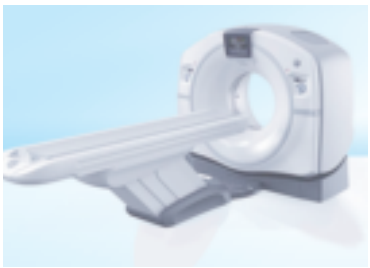
①総合受付　②検査予約センター　③外来（内科・心療内科・整形外科・小児科・神経内科）
④中央処置室（点滴・注射・採血）　⑤放射線科（一般・CT断層撮影検査・MRI磁気共鳴画像検査・RI造影撮影検査）
⑥救急センター　⑦相談室　⑧生協加入コーナー　⑨医事課事務室　⑩診療事務課事務室
⑪地域連携室　⑫ボランティア室　⑬Yショップ売店/スマイルマム　ベーカリー　⑭医療材料販売/ドマーニ
⑮アネックス棟／COOP健康づくりクラブ「withウィズ」　⑯レストラン　⑰美容室/ハートランド

1F／平面図



医療材料販売／ドマーニ 1階

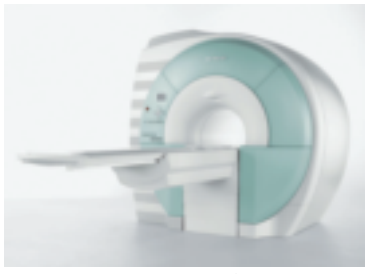
総合受付・エントランスホール／1階


放射線科／CT室

内科待合室／1階

Yショップ売店スマイルマム／1階

レストラン／1階


放射線科／MRI室

2階のご案内

2F

⑱外来（歯科・歯科口腔外科・産婦人科・眼科・耳鼻科・泌尿器科・皮膚科・外科）
⑲透析室　⑳内視鏡室　㉑化学療法室
㉒放射線科（一般撮影室・X線TV室・血管造影室・骨密度検査室・マンモ検査室）
㉓検査室（一般・細菌・生理検査　㉔腹部エコー室　㉕ラウンジ
㉖アネックス棟／健診センター

2F／平面図

透析室／2階

血管造影室

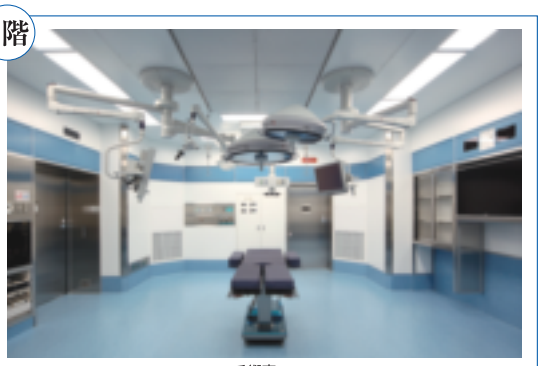
内視鏡室

ラウンジ／2階

3階～6階ご案内図

3～9階のご案内

3階

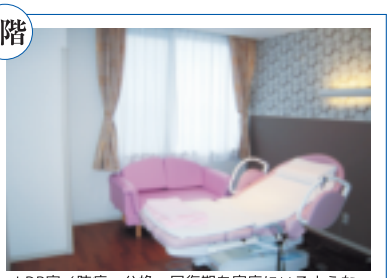


手術室

4階

リハビリテーション室

6階

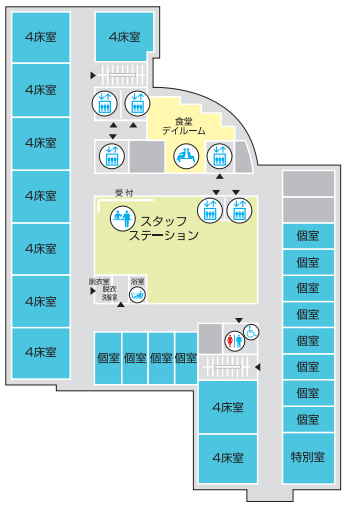


LDR室／陣痛～分娩～回復期を家庭にいるような雰囲気の中で、お産ができるお部屋です。

産婦人科／個室（シャワー、トイレ、洗面付）

5F病棟／平面図

9F病棟／平面図



4階～9階病棟（312床）

4人部屋

個室

浴室

多目的WC

分散型WC

特別室

交通のご案内

《お車でお越しの方》

・新潟駅より車で15分。

《公共交通機関でお越しの方》

・バス

平成27年９月５日より、木戸病院行きのバスが変更されています。

・新潟交通

はなみずき線　E70：木戸病院―はなみずき―本馬越―新潟駅南口

竹尾線　　E60：木戸病院―竹尾―新潟駅前―万代シテイ

・区バス

石山方面先回り　松崎ルート

山の下方面先回り　松崎ルート

Ⅲ. 2015年度臨床指標・診療実績

部所	行　為	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
手術室	外科	23	40	22	25	23	25	29	24	31	26	32	26	326
	整形外科	17	26	21	23	22	22	17	27	21	30	23	23	272
	産婦人科	10	7	12	10	6	4	4	13	10	14	6	9	105
	耳鼻咽喉科	4	1	3	3	3	5	4	3	2	5	2	1	36
	眼科	28	25	41	36	33	28	27	30	29	34	36	36	383
	皮膚科	8	5	5	7	4	4	8	6	4	6	5	7	69
	内科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	透析	1	3	5	6	3	1	3	1	3	3	0	3	32
	歯科口腔外科	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	8
	泌尿器科	0	0	0	1	0	0	3	3	3	4	4	4	22
	合　計	92	107	110	111	95	90	96	108	104	122	109	110	1,254
心カテ室	心臓カテーテル	24	17	18	12	9	12	12	16	15	11	11	13	170
	腹部アンギオ	4	8	3	4	1	2	2	4	2	1	1	1	33
	ペースメーカー	1	3	2	10	1	3	3	4	3	4	2	4	40
	合　計	29	28	23	26	11	17	17	24	20	16	14	18	243
内視鏡	胃カメラ	401	432	556	577	477	448	490	460	501	452	489	491	5,774
	大腸カメラ	133	109	162	171	147	135	147	151	169	124	149	157	1,754
	ＥＲＣＰ	4	1	2	1	4	3	2	1	2	4	3	1	28
	気管支内視鏡	1	2	0	0	1	3	2	0	0	0	1	0	10
	緊急（止血術）	2	1	9	5	3	5	7	6	11	7	16	6	78
	合　計	541	545	729	754	632	594	648	618	683	587	658	655	7,644
放射線科	ＣＴ	593	552	645	567	551	570	629	588	661	564	557	639	7,116
	ＲＩ	38	28	36	26	24	27	30	20	27	28	31	36	351
	ＭＲＩ	272	237	292	276	223	208	246	205	243	195	216	230	2,843
	骨密度	107	113	131	126	111	119	80	95	117	87	99	158	1,343
	合　計	1,010	930	1,104	995	909	924	985	908	1,048	874	903	1,063	11,653
検査室	検体検査	8,495	7,835	9,247	9,145	8,408	8,370	8,495	7,916	8,401	7,832	8,152	8,740	101,036
	生理検査	1,034	953	1,226	1,065	893	916	931	921	1,165	997	1,058	1,085	12,244
	細菌検査	1,320	1,436	1,654	1,498	1,375	1,504	1,519	1,518	1,858	2,237	2,353	2,237	20,509
	合　計	10,849	10,224	12,127	11,708	10,676	10,790	10,945	10,355	11,424	11,066	11,563	12,062	133,789
栄養科	外来栄養指導	228	180	223	216	171	189	195	191	215	205	186	189	2,388
	入院栄養指導	39	32	47	41	26	42	48	53	46	38	57	55	524
	合　計	267	212	270	257	197	231	243	244	261	243	243	244	2,912
病理	剖検	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	組織診	192	172	197	223	208	180	227	205	221	220	233	224	2,502
	細胞診	312	339	437	396	363	450	516	457	479	359	363	296	4,767
	合　計	504	511	634	619	572	630	743	662	700	579	596	520	7,270
訪問リハビリ（回数）		372	317	369	352	318	317	346	320	350	326	339	399	4,125
臨床病理検討会		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

【産婦人科】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自然分娩	9	5	6	17	9	10	6	4	7	10	3	6	92
吸引分娩	1	4	4	3	3	3	1	1	0	3	2	3	28
帝王切開	6	3	2	7	1	2	0	6	2	2	3	3	37
分娩合計	16	12	12	27	13	15	7	11	9	15	8	12	157

【服薬指導状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	215	169	245	188	202	168	175	120	67	65	182	206	2,002
小児科	11	7	10	4	4	9	8	16	8	4	7	11	99
外科	50	36	53	66	64	66	59	66	86	55	56	73	730
皮膚科	1	1	0	5	5	10	9	2	1	0	4	4	42
歯科	3	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	9
産婦人科	19	15	18	17	8	14	8	7	0	1	4	5	116
整形外科	161	127	157	136	112	95	112	67	89	90	73	66	1,285
耳鼻咽喉科	11	3	14	10	11	8	13	2	1	4	4	5	86
眼科	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	6
神経内科	40	15	21	18	18	22	35	40	15	22	27	27	300
合計	511	375	520	445	426	393	421	320	268	241	358	397	4,675

【健診センター】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宿泊ドック	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	6
日帰りドック	145	205	293	335	283	264	362	347	302	286	295	269	3386
合計	146	206	294	337	283	264	362	347	302	286	295	270	3392

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定健診	161	222	256	221	156	238	294	207	186	115	162	159	2,377

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定保健指導	14	8	8	8	6	10	9	11	9	6	3	8	100

【褥瘡推定発生率】 調査日に褥瘡を保有する患者－入院時にすでに褥瘡保有が記載されていた患者÷調査日の入院患者×100（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	7.6%	5.6%	7.4%	4.3%	2.8%	5.3%	5.7%	4.4%	5.8%	8.4%	8.3%	8.7%
2度以上	5.2%	3.3%	5.5%	3.9%	2.0%	4.5%	4.4%	3.6%	5.1%	7.3%	8.0%	7.6%

【病院褥瘡有病率】 調査日に褥瘡を保有する患者÷調査日の入院患者数×100（%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1度以上	11.6%	9.7%	11.3%	7.9%	6.5%	11.0%	11.9%	7.7%	9.1%	11.4%	11.1%	13.4%
2度以上	8.4%	7.7%	9.2%	7.1%	4.9%	9.5%	9.2%	6.5%	8.3%	10.2%	10.4%	12.3%

【2015年度外来患者数】

初診患者数

外　　来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件　　数	1,292	1,233	1,329	1,348	1,466	1,312	1,567	1,455	1,645	1,290	1,347	1,507	16,791
診療日数	23	20	24	24	23	21	23	21	23	21	22	24	269

延患者数

外　　来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　　科	7,074	6,571	7,425	7,827	6,953	7,074	7,359	7,288	7,752	6,928	7,023	7,537	86,811
外　　科	709	591	748	668	653	688	669	601	732	568	639	699	7,965
小 児 科	446	365	447	454	447	496	574	735	724	505	600	533	6,326
皮 膚 科	834	744	902	964	910	941	1,013	880	942	800	896	984	10,810
整形外科	1,154	978	1,205	1,120	1,105	1,056	988	993	1,162	865	1,046	1,175	12,847
産婦人科	580	593	645	650	537	607	623	637	646	580	604	656	7,358
耳鼻咽喉科	550	505	625	536	552	534	562	533	545	566	532	556	6,596
泌尿器科	530	449	567	602	557	593	615	551	621	545	537	680	6,847
眼　　科	854	776	917	938	808	810	876	829	932	771	814	919	10,244
精 神 科	20	15	48	11	26	6	7	29	12	19	27	10	230
神経内科	410	353	441	457	418	423	407	434	433	356	402	471	5,005
歯　　科	986	883	1,049	1,021	947	891	1,000	940	998	949	1,093	1,076	11,833
合　　計	14,147	12,823	15,019	15,248	13,913	14,119	14,693	14,450	15,499	13,452	14,213	15,296	172,872
診療日数	23	20	24	24	23	21	23	21	23	21	22	24	269

【2015年度入院患者数】

新入院患者数

入　　院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件　　数	405	415	463	483	429	420	443	413	435	449	408	407	5,170

延患者数

入　　院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　　科	4,954	5,103	5,208	4,821	4,844	4,704	4,839	4,585	5,150	5,284	4,915	5,577	59,984
小 児 科	117	100	84	96	112	168	149	133	177	125	114	115	1,490
皮 膚 科	38	31	3	32	59	124	129	62	74	60	55	83	750
外　　科	868	990	928	998	1,089	1,045	900	940	1,056	961	916	763	11,454
整形外科	1,237	1,239	1,285	1,070	930	883	942	946	1,272	1,330	1,172	1,127	13,433
産婦人科	343	318	353	470	321	289	237	315	342	439	317	305	4,049
耳鼻咽喉科	139	80	172	166	144	90	162	111	148	165	154	111	1,642
神経内科	519	436	315	309	347	386	427	501	277	404	508	492	4,921
泌尿器科	0	3	0	0	0	0	7	12	4	21	13	8	68
眼　　科	81	86	117	112	98	74	59	75	65	75	84	83	1,009
歯　　科	36	2	18	74	76	39	52	37	60	78	75	64	611
合　　計	8,332	8,388	8,483	8,148	8,020	7,802	7,903	7,717	8,625	8,942	8,323	8,728	99,411
診療日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

Ⅳ．2015年度活動報告・研究業績

１．診療部

【一般内科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

英文原著

１．Maruyama K, Saito H, Hagino N. Prenatal and postnatal methylmercury exposure in Niigata, Japan : four cases descriptive study. J Clin Case Rep doi:10. 4172／2165-7920.1000520

２．Saito H, Maruyama K, Hagino N. Sensory disturbance as a characterisyistic symptoms of methylmercury poisoning in Niigata, Japan. J Env Sci Eng A 4: 532-540, 2015.

学会発表

国際学会発表

１．Saito H, Maruyama K, Hagino N. Sensory disturbance as a characterisyistic symptoms of methylmercury poisoning in Niigata, Japan. 12th International Conference on Mercury as a Global Pollutsnt.（2015/６/14-19, Korea）

国内学会発表

１．斎藤　恒, 丸山公男, 萩野直路. 初期新潟有機水銀中毒症からの考察. 第11回水俣病事件研究交流集会（2016／１／９, 熊本）

２．斎藤　恒. 水俣病は病因論的病名であり、疫学が基礎である. 水俣病臨床検討会（2016／１／10, 熊本）

講演

１．斎藤　恒.　水俣病の本質は食中毒事件、新潟水俣病を考える集い. 新潟水俣病第３次訴訟弁護団, 新潟水俣病を支援する会（2016／３／27, 新潟）

その他

【循環器内科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師３人、新潟大学循環器内科派遣医師１人（日本循環器学会認定循環器専門医３人）

外来診療

１週間のうち循環器専門外来（予約）７枠、高脂血症外来（予約）１枠、内科新患外来５枠（土曜を含む）を担当。その他２回／月のペースメーカークリニック、５回／週のＲＩ／運動負荷試験を担当する。循環器専門外来のうち１枠、運動負荷試験のうち２枠は新潟大学循環器内科から、応援をいただいている。

入院診療

年間入院患者数521人（うち急性心不全85人　急性心筋梗塞20人）平均在院日数22.8日。2015年度の心臓カテーテル検査室の稼働状況は以下の通り。

心カテ室稼働状況

（検査件数）

冠動脈影（ＰＣＩは除く）	129件
左室造影	117件
大動脈造影	８件
血管内超音波検査	９件
心筋生検	１件
電気性理学的検査	１件

（治療件数）

緊急ＰＣＩ	16件
待機的ＰＣＩ	36件
ステント留置	46件（63病変）
バルーン拡張術	６件（８病変）
末梢血管ＰＴＡ	６件
下大静脈フィルター挿入	２件
ＩＡＢＰ挿入	３件
ペースメーカー植込	新規12件
	交換４件

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1．山口利夫．1枚の心電図から何を考えるか．第16回コロキウム虚血性心疾患in新潟（2015／9／5，新潟）

講演

その他

研究会座長

◇津田隆志

・加藤公則特別講演「健診現場から考える動脈硬化性疾患の予防について」．第18回東新潟循環器研究会．（2015／6／10，新潟）

・「高齢化社会における静脈血栓塞栓症の予防と治療～アピキサバンへの期待」．第2回臨床医学セミナー．（2016.3.24，新潟）

◇山口利夫

・「心房細動のカテーテル治療」．第19回東新潟循環器研究会（2015／11／11，新潟）

・坂井和泉「慢性心不全看護認定看護師の実践と課題」．心不全治療勉強会（2016／2／24，新潟）

院内活動

◇津田隆志

・院長

・DPC運用委員会委員長

・医療情報システム管理運営委員会委員長

・備品医材料購入委員会委員長

・基幹型臨床研修病院準備会委員

◇山口利夫

・診療部長

・院内感染管理部門委員長

・基幹型臨床研修病院管理委員会プログラム責任者

・医療安全管理部門会議委員

【呼吸器内科】

１．活動報告

診療体制・外来・入院・手術・関連施設

常勤医師２人の診療体制。

入院診療

2015年度の入院患者総数は351人で、内訳は呼吸器感染症142人、COPD15人、気管支喘息30人、間質性肺疾患11人、肺癌37人、気胸17人、その他99人（重複なし）。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．成田淳一，河辺昌哲．抗ARS抗体症候群の１例．第289回チェストカンファレンス例会（2015／５／13，新潟）

２．河辺昌哲，三浦　理，田中洋史，伊藤和彦，渡部　聡，牧野真人，岡島正明，田中純太，各務　博，吉澤弘久，菊地利明．肺癌患者に対するカルボプラチン併用療法施行時の悪心嘔吐に対する予防的制吐療法の無作為Ⅱ相試験．56回日本肺癌学会総会（2015／11／26－28，横浜）

講演

その他

企画開催

・第９回東新潟NHCAP懇話会（2015／６／10，新潟）

・第10回東新潟NHCAP懇話会（2015／11／18，新潟）

・第１回木戸病院吸入指導研修会（2015／６／25，新潟）

研究会座長

◇成田淳一

・COPD Discussion Meeting（2015／９／15，新潟）

・木戸病院感染対策講習会（2016／３／24，新潟）

研究会幹事会

◇成田淳一

・新潟吸入療法研究会幹事会（2015／７／11，新潟）

・新潟チェストカンファレンス拡大幹事会（2015／８／１，新潟）

・新潟COPDリンク世話人会（2015／10／22，新潟）

・新潟呼吸器疾患研究会幹事会（2016／３／19，新潟）

その他

院内研究会・学習会・勉強会

◇成田淳一

・インフルエンザの治療と感染対策.医療安全・感染対策研修会（2015／12／３－４，新潟）

院内活動

◇成田淳一

・感染管理部部門会議
・医薬品委員会
・輸血療法委員会
・化学療法委員会
・病棟再編検討会
・地域包括病棟会議
・療養病棟会議

◇河辺昌哲

・クリニカルパス委員会
・地域包括室会議
・保険請求検討委員会
・７階病棟会議

【糖尿病内科・内分泌内科】

１．活動報告

糖尿病センター

医師体制

2015年４月から安藤先生、大澤先生が着任されました。

津田晶子	Ｓ52年卒	内科認定医　糖尿病専門医　糖尿病指導医　内分泌専門医
荻原智子	Ｈ９年卒	内科認定医
濱ひとみ	H11年卒	内科専門医　糖尿病専門医　透析専門医　腎臓専門医
安藤麻里	H18年卒	内科認定医
大澤妙子	H21年卒	内科認定医

糖尿病センター 2015年度総括

１．２人の新任医師の着任により、５人の医師体制となりました。

・新患のアクセスが改善しました。

・入院診療体制が強化され、複数主治医制がとれるようになりました。

・各種会議時間の時間内実施が図れ、業務改善につながりました。

・新しい視点により、これまでの弱点や問題点の再認識につながりました。

２.「病棟再編」により５Ｆが糖尿病患者さんの「入院から退院までの治療と療養指導」を担えるようになりました。一方、急性期病棟化に伴い、病棟看護師・外来看護師ともに、多忙となり超勤が増加しました。業務改善を図ってゆきたいと思います。

病診連携

・病診連携室を通しての緊急の受診・入院依頼について開業医の先生からの紹介については、直接病状がうかがえるように電話を回して欲しい。

予防・健康づくり

１．新潟医療生協がめざす「健康長寿」のための健康づくりの一環として、「健康生き生きチャレンジ」に企画段階から参加し、生協健康づくり課・栄養科・ｗｉｔｈ・通リハが協力して「健康生き生き教室」『ストレッチ教室』『すこしお教室』を開催した。

　これらの実践が、組合員さんの現状をどう把握し、健康づくり運動がどう効果を上げたかを検証してゆくことにつなげてゆけるような計画が必要と思われる。

２.「体力測定＋体組成測定」を健診受診者の希望者に受けていただける体制ができた。

３．東新潟糖尿病懇話会開催と病診連携患者さんの登録台帳作成が課題として残った。

診療・チーム医療

１．薬剤師との連携

・内服薬管理システムの導入が検討されています。

　夕方にできる処方や夕方入院の方の内服管理などを連携をとってゆきたい。

・服薬指導の徹底。退院時服薬指導は、退院指示・退院処方の早期入力により、より実施し易くなる見込みです。

2．医事課・診療事務課との分担

・予約入院を増やす。入院病歴では、外来記録を活用する。
DPC化に向けて、入院準備ための、外来入院説明・入院前検査一式を見直す。

・入院プログラムの内容充実とスリム化　検討

3．運動療法では体力測定を新たに組み入れ、夕方のストレッチのｗｉｔｈスタッフによる指導増加もあり患者さんの意欲UPがみられています。

4．退院指導・病棟から看護外来への申し送り方法を検討します。

5．インスリン指示が見やすいようにインスリン指示欄を情報処理科の協力により改善しました。採用インスリン製剤の整理をし、電カル指示欄も整理しました。

6．ＰＴも同席した病棟カンファランスが開始できました。

7．糖尿センター・スタッフ会議の時間内開催。

友の会活動

・友の会事務局担当者の移動があり、友の会活動が休会状態になった。生協組織部や事務部とも協力してゆきたい。

2．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1．津田晶子，濱　ひとみ，荻原智子．長時間のインスリン治療２型糖尿病においてシタグリプチンとビグアナイド剤を含む多剤併用療法に切り替え後３年後の予後．第58回日本糖尿病学会年次学術集会　（2015／５／22，山口）

2．大澤妙子，安藤麻理，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．21年間のポンプ治療経験の後、頻回注射療法変更後に無自覚低血糖頻発のため Sensor augmented pump 治療を開始した１型糖尿病の１例．第15回日本先進糖尿病治療研究会（2015／11／７，京都）

3．安藤麻理，大澤妙子，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．123-MIBG 心筋シンチへの集積異常を認めたミトコンドリア病の一例と当院で見つかったミトコンドリア病患者群の比較検討．第45回新潟糖尿病談話会（2016／２／６，新潟）

4．矢尾板恵美，間　由美子，中村　誠，大澤妙子，安藤麻里，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．教育入院の運動療法に体力測定を取り入れて、入院前後と３か月後の変化を検討．平成27年度新津糖尿病運動療法研究会（2016／３／26，新潟）

講演

1．津田晶子．２型糖尿病治療におけるメトホルミンの役割と適正使用.下越薬剤師会学術講演会（2015／６／17，新発田）

2．津田晶子．健康長寿をめざして食と活動する力を見直そう．健康まつり（2015／10／３，新潟）
3．津田晶子．１型糖尿病治療のめざすものカーボカウント／SAPをとりいれて（Sensor Augmented Pump）研修医のための第５回インスリン療法セミナー（2015／10／10，新潟）
4．津田晶子．健康長寿をめざして私達にできること―楽しく、さわやかに、第一歩から―．第51回上越糖尿病内分泌研究会.（2015／10／28，上越）
5．津田晶子．２型糖尿病治療におけるメトホルミンの役割と適正使用．メトホルミン．ファーマシーセミナー（2015／11／18，新潟）
6．津田晶子．甲状腺のはなし．健康セミナー（2016／２／３，新潟）
7．津田晶子．糖尿病の薬物療法．新潟市糖尿病ミニ講座（2016／２／28，新潟）
8．舟越洋子．看護師によるフットケア．新潟市糖尿病ミニ講座（2015／11.５，新潟）
9．山岸彰子．一人暮らしの方へ具体的な食事の工夫とコツについて．新潟市糖尿病ミニ講座（2015／７／26，新潟）
10．山口朝子．最新のトピックス：食事のお悩みQ＆A．新潟市糖尿病ミニ講座（2016／３／29，新潟）

その他

学会活動

◇津田晶子

・日本糖尿病学会（評議委員）
・日本先進糖尿病治療研究会（世話人）

学会座長

◇津田晶子

・第58回日本糖尿病学会総会（2015／５／23，山口）
・第15回日本先進糖尿病治療研究会（2015／11／７，京都）
・研究会座長　津田晶子　５件

学生講義

◇津田晶子

・新潟大学医歯学総合病院血液内分泌代謝内科非常勤講師
・新潟大学医学部M３講義「経口糖尿病薬」（2016／１／20）
・新潟大学医学部M３実習ミニ講義「糖尿病ケトアシドーシス・２型糖尿病」

【腎臓内科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師４人で外来、入院診療を行いました。

手術

経皮的針腎生検：14件

手術：内シャント造設／再建術27件、長期留置型透析用カテーテル植込術３件、動脈表在化術１件、他結紮術などを施行しました。ＰＴＡ（経皮的血管形成術）27件行いました。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．津田晶子，濱　ひとみ，荻原智子．長時間のインスリン治療２型糖尿病においてシタグリプチンとビグアナイド剤を含む多剤併用療法に切り替え後３年後の予後．第58回日本糖尿病学会年次学術集会（2015／５／22，山口）

２．大澤妙子，安藤麻理，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．21年間のポンプ治療経験の後、頻回注射療法変更後に無自覚低血糖頻発のため Sensor augmented pump 治療を開始した１型糖尿病の１例．第15回日本先進糖尿病治療研究会（2015／11／７，京都）

３．安藤麻理，大澤妙子，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．123-MIBG 心筋シンチへの集積異常を認めたミトコンドリア病の一例と当院で見つかったミトコンドリア病患者群の比較検討．第45回新潟糖尿病談話会（2016／２／６，新潟）

４．矢尾板恵美，間　由美子，中村　誠，大澤妙子，安藤麻里，濱　ひとみ，荻原智子，津田晶子．教育入院の運動療法に体力測定を取り入れて、入院前後と３か月後の変化を検討．平成27年度新津糖尿病運動療法研究会（2016／３／26，新潟）

講演

その他

院内活動

◇矢田省吾

・保険請求検討会

・糖尿病センタースタッフ会議

◇太田隆志

・医薬品委員会
・医療安全管理委員会
・医療安全管理部門会議
・木戸病院管理職会議、
・木戸病院検査運営委員会
・病院機能検討委員会
・CPC 委員会
・デスカンファレンス委員会
・輸血療法委員会
・リスクマネージャー会議
・倫理委員会
・臨床研修医基幹型病院事務局会議

◇濱ひとみ

・接遇改善推進委員会
・糖尿病センタースタッフ会議

【消化器内科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．真鍋高宏，山田　明，渡辺智子，阿部要一，横山　恒，摺木陽久，佐藤秀一．ＰＥＧ困難例に対する小切開・開腹胃瘻造設術．第10回ＮＳＴフォーラム（2016／３／15，新潟）

講演

その他

【神経内科】

１．活動報告

診療体制

常勤医２人体制（北原真紀子、高橋俊昭）で入院・外来診療を行いました。

入院診療

脳血管疾患（脳梗塞、脳出血）の急性期治療、神経変性疾患（パーキンソン病、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症等）の診断と治療、アルツハイマー病など認知症の合併症に対する治療を行いました。

外来診療

地域医療機関から、認知症の診断・治療に関する紹介受診が、多くなっています。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．高橋俊昭．多系統萎縮症（MSA-P）におけるMRIを用いた被殻面積評価の検討．第56回日本神経学会学術大会（2015／５／20－23，新潟）

２．北原真紀子，高橋俊昭．パーキンソン病患者における静脈性臭覚検査の有用性の検討．第56回日本神経学会学術大会（2015／５／20－23，新潟）

講演

１．高橋俊昭．脳梗塞と認知症．健康セミナー講演（2016／３／９，亀田総支部）

その他

社会活動

◇高橋俊昭

・新潟市医師会　認知症相談医

・新潟市東区介護保険判定会議

院内学習会

◇高橋俊昭

・神経疾患や神経症候に関する勉強会（５階病棟）

院内活動

◇高橋俊昭

・接遇改善委員会

・リスクマネージャー委員会
・基幹型臨床研修病院運営会議
・病棟再編検討会
・死亡症例検討会

【小児科】

１．活動報告

診療体制

常勤医師２名、時短常勤医師１名で活動している。

外来診療

月、火、水曜日は２診体制で、木、金曜日は１診体制で一般診療を行っている。

火曜日の１時30分からは乳児健診、金曜日の１時30分からと月、火曜日の３時から予防接種を施行している。

第２、４土曜日は一般診療と生活習慣病外来（常勤医師の樋浦が担当）を行っている。

入院診療

平成27年度の入院患者総数は259名、平均在院日数は5.7日であった。

喘息や肺炎入院が多く、胃腸炎やけいれん疾患、川崎病の入院もそれに次いでいた。

重症児は大学病院、市民病院に転院している。また、産科病棟の新生児診察を行い、異常のみられた新生児は当院で入院加療するほか、市民病院のNICUに搬送を行っている。先天性心疾患児のの救急搬送も２例行われた。

救急診療

新潟市の二次輪番事業に協力し、日曜日を含む年間42日の輪番を担当している。

急患センターからの入院依頼、救急車の受け入れが主な業務ではあるが、開業医からの紹介入院も多い。

関連施設

生協事務所内に併設されている病児保育施設「きどっこ」での病児管理を行っている。

保育士と連携しながら朝８時から夕方６時までの保育提供に勤めている。昨年度の受け入れ児の延べ人数は1,127名（１日平均4.66名）であった。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．Sonoda K, Mori M, Hokosaki T, Yokota S. Infliximab plus plasma exchange rescue therapy in severe Kawasaki disease. The 11th Asian Society for Pediatric Research（2015／４／15－18, 大坂）

２．園田香里，堀口　祥，樋浦　誠，金子詩子，今井千速，佐藤英利，今村　勝，齋藤昭彦，横田直樹，大山俊之，荒井勇樹，窪田正幸，梅津哉．低身長を契機に発見されたCastleman病の１例．第25回日

本小児リウマチ学会総会・学術集会（2015／10／9－11，金沢）

講演

その他

社会活動

・亀田製菓、新潟大学小児科学教室と共同で「イオンバランスおかゆ」を開発しその提供、普及に努めた。国内学会の企業ブースでの宣伝活動に協力した。

【産婦人科】

１．活動報告

２．　研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【外科】

1．活動報告

診療体制

2015年４月～９月は常勤医５人、2015年10月～2016年３月は常勤医４人

2015年４月～６月は木・金曜に非常勤医（大学からの派遣医師）１人、2015年７月～2016年３月は木曜に同１人の体制で診療を行った。

外来診療

平日及び第２，４土曜日の午前に診療している。

2015年４月～11月は月・水曜に２診体制、2015年12月～2016年３月は月・水・金曜に２診体制で診療を行った。

一般診療の他、外来化学療法、外来手術（切除生検等）、内視鏡検査も行っている。

2015年度の１日平均外来患者数は32.3人／日であった。

入院診療

外科はチーム医療で診療に当たっている。2015年４月～９月は３チーム制、2015年10月～2016年３月は２チーム制で入院診療を行っているが、原則、一般病棟の入院患者は全ての外科医が診療に従事する体制を取っている（平日の総回診や休日の当番体制等）。

手術目的の入院以外にも、入院化学療法、消化器感染症（腸炎等）の保存的加療、緩和医療等に対応している。

2015年度の１日平均入院患者数は31.3人／日であった。

手術

消化器外科領域の手術、及び乳腺・甲状腺の手術を行っている。

2015年度の総手術件数は323件であった。内訳は、入院手術311件、外来手術12件。

疾患別で主なものは、

胃悪性腫瘍手術32例(幽門側胃切除術19例　噴門側胃切除術５例　胃全摘術６例　局所切除術２例)

大腸・直腸悪性腫瘍手術41例（大腸癌26例　直腸癌　15例）内、腹腔鏡下手術５例

肝胆膵悪性腫瘍手術12例（肝悪性腫瘍６例　胆道悪性腫瘍３例　膵悪性腫瘍３例）

胆道良性疾患（胆石等）31例（胆嚢結石症22例　総胆管結石症９例）内、腹腔鏡下手術19例

乳腺悪性腫瘍手術30例（乳房全摘出術18例　乳房温存術12例）

鼠径ヘルニア類73例

その他緊急手術46例／年

2．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

1．真鍋高宏，山田　明，渡辺智子，阿部要一，横山　恒，摺木陽久，佐藤秀一．ＰＥＧ困難例に対する小切開・開腹胃瘻造設術．第10回ＮＳＴフォーラム（2016／３／15，新潟）

講演

その他

【整形外科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【泌尿器科】

１．活動報告

診療体制

2015／４／１からは従来の新潟大学医師による週２回の外来診療から、木曜日は大学の出張医師、月・火・水・金曜日は北村が担当する外来診療に変更しました。

外来診療

内視鏡、超音波・CT・MRIなどの画像検査、前立腺生検により、あらゆる泌尿器科疾患に対し診断可能となりました。

遅ればせながら、電子カルテによる診療に改善されました。

２．研究業績

論文・著書

英文症例報告

１．Kobayashi K, Saito T, Kitamura Y, Bilim V, Toba T, Kawasaki T, Hara N, Tanikawa T, Tomita Y. Clinicopathological features and outcomes in patients with late recurrence of renal cell carcinoma after radical surgery. International Journal of Urology 23: 132-137, 2016

学会発表

国内学会発表

１．北村康男，ビリーム・ウラジミ，鳥羽智貴，小林和博，斎藤俊弘，倪　文君，川崎　隆．腎盂・尿管癌のリンパ節郭清術．第103回日本泌尿器科学会総会（2015／４／21，金沢）

２．鳥羽智貴，倪　文君，ビリーム・ウラジミル，小林和博，斎藤俊弘，北村康男，川崎　隆．腎癌肺転移における定位放射線治療の成績．第103回日本泌尿器科学会総会（2015／４／21，金沢）

３．猪口淳一，黒岩顕太郎，筧　善行，杉元幹史，北村康男，水澤純基，中村健一，内藤誠二．根治手術が実施された上部尿路癌におけるリンパ節郭清術の意義に関する検討－JCOG1110-A研究より　第103回日本泌尿器科学会総会（2015／４／21，金沢）

４．斎藤俊弘，鳥羽智貴，ビリーム・ウラジミル，小林和博，北村康男，倪　文君，川崎　隆，竹内悟，田崎晃一郎，大井博之，関　裕史．前立腺生検前MRIの有用性．第103回日本泌尿器科学会総会（2015／４／21，金沢）

５．小林和博，ビリーム･ウラジミル，鳥羽智貴，斎藤俊弘，北村康男，川崎　隆，倪　文君，原　昇，冨田善彦．ネオアジュバント化学療法の適応とアウトカム．第103回日本泌尿器科学会総会(2015／４／21，金沢）

６．北村康男，川崎隆．尿路上皮癌におけるリンパ節転移．第51回新潟泌尿器科臨床医検討会（2015／８／28，新潟）

７．川崎　隆，大井博之，ビリーム・ウラジミル，山崎裕幸，小林和博，斎藤俊弘，谷川俊貴，北村康男．MRIによる前立腺癌の検出と前立腺全摘標本との比較．第80回日本泌尿器科学会東部総会（2015／９／27，東京）

8．斎藤俊弘，山﨑裕幸，ビリーム・ウラジミル，小林和博，谷川俊貴，川崎　隆，北村康男．ホルモン感受性新鮮進行前立腺癌に対する初期ドセタキセル療法の試み．第53回日本癌治療学会（2015／10／2，京都）

9．平間裕美，杉元幹史，筧　善行，本間之夫，福原　浩，松田公志，木下秀文，市川智彦，坂本信一，北村康男，斎藤俊弘，横山　晃,，前田佳子，PRIAS-JAPAN研究グループ．監視療法患者におけるQOL-PRIAS-JAPAN study-第53回日本癌治療学会学術集会（2015／10／29，京都）

10. 北村康男，ビリーム・ウラジミル，山崎裕幸，小林和博，斎藤俊弘，谷川俊貴，川崎　隆．ワークショップ　膀胱癌の治療の個別化を目指して－膀胱全摘術におけるリンパ節郭清術の治療的意義について第53回日本癌治療学会学術集会（2015／10／30，京都）

11. 小林和博，山﨑裕幸，ビリーム・ウラジミル，斎藤俊弘，谷川俊貴，川崎　隆，北村康男．初回診断時に肉眼的腫瘤を認めない尿路上皮癌症例の検討．第376回日本泌尿器科学会新潟地方会（2016／3／19，新潟）

講演

その他

【皮膚科】

1．活動報告

診療体制

常勤医師２人、短時間常勤医師１人（日本皮膚科学会認定皮膚科専門医３人）の体制で診療している。

外来診療

平日および第２・第４土曜の午前に２診体制で診療している。2015年度の外来患者数は延べ12096人（１日平均45.0人）であった（他科入院中の患者を除く）。エビデンスに基づいた診療を心がけており、コモンディジーズについてはガイドラインに沿った診療を行っている。正確な診断のために、皮膚生検を積極的に施行しており、2015年度の病理検査数は153検体であった。病理診断は院外の皮膚病理専門医と当院皮膚科医によるダブルチェックを行っている。2015年度からジャパニーズスタンダードアレルゲンのパッチテストには、パッチテストパネル®(S) を用いている。

入院診療

2015年度の入院患者数は47人（延べ入院日数750日、１日平均2.0人）で、平均在院日数は16.1日であった。疾患としては、帯状疱疹と蜂窩織炎・丹毒が多く、その他、感染を伴う褥瘡、皮膚潰瘍、熱傷、自己免疫性水疱症、接触皮膚炎（パッチテストのための検査入院を含む)、結節性紅斑、薬疹（SJS･DIHSを含む)、中毒疹、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、有棘細胞癌などであった。他の診療所・病院からの紹介患者は積極的に受け入れたが、当院には設置されていない陰圧室や集中治療室への入室が必要な患者は新潟市民病院や新潟大学に紹介した。他科入院中の患者に対してはコンサルテーションによる診察に加えて、佐藤信輔医師が月２回褥瘡回診を行っている。

手術

2015年度の皮膚生検を含む手術件数は153件であった(創傷処理および皮膚切開術を除く)。皮膚生検･創傷処理・皮膚切開術以外の予定手術は手術室で行う方針としているが、診療体制の変更に伴い、手術室での手術件数は70件に減少した。診療体制上、原則として執刀医1人での局麻手術に限定されるため、単純縫縮が可能な皮膚・皮下腫瘍の日帰り手術が中心であり、全麻手術・他科との共同手術・植皮や複雑な皮弁による再建が必要な場合、広範囲切除やセンチネルリンパ節生検・リンパ節郭清が必要な悪性腫瘍は新潟県立がんセンター新潟病院、新潟市民病院形成外科および新潟大学に依頼した。

関連施設

月曜・火曜・金曜の午後に石山診療所で外来診療を行っている。また、介護老人保健施設ほほえみの里きど（週１回)、指定介護老人福祉施設／特別養護老人ホームあしぬま荘（月１回)、桑名病院（月２回）の診療も行っている。

2．研究業績

英文著書

1．Kawai K

$\gamma\delta$ T cells.

In: Immunology of the Skin: Basic and Clinical Sciences in Skin Immune Responces. Kabashima K (ed). Springer Japan, Tokyo, 95-111, 2016.

英文原著

1．Yonekura K, Utsunomiya A, Seto M, Takatsuka Y, Takeuchi S, Tokunaga M, Kubota A, Takeda K, Kanzaki T, Uchida Y, Kawai K, Kanekura T. Human T-lymphotropic virus type 1 proviral loads in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma: comparison between cutaneous type and other subtypes. J Dermatol 42: 1143-1148, 2015.

2．Katsuya H, Ishitsuka K, Utsunomiya A, Hanada S, Eto T, Moriuchi Y, Saburi Y, Miyahara M, Sueoka E, Uike N, Yoshida S, Yamashita K, Tsukasaki K, Suzushima N, Ohno Y, Matusoka H, Jo T, Amano M, Hino R, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K. Treatment and survival among 1594 patients with ATL. Blood 126: 2570-2577, 2015.

3．Hatanaka M, Higashi Y, Kawai K, Su J, Zeng W, Chen X, Kanekura T. CD147-targeting siRNA in A375 malignant melanoma cells induces the phosphorylation of EGFR and downregules cdc25C and MEK phosphorylation. Oncol Lett 11: 2424-2428, 2016.

英文症例報告

1．Miyauchi T, Abe R, Morita Y, Adachi M, Shiba K, Hamade Y, Saito N, Nishimura M, Ibata M, Okada K, Shigematsu A, Endo T, Kawai K, Teshima T, Shimizu H. CD4／CD8 double-negative T-cell lymphoma: A variant of primary cutaneous CD8+ aggressive epidermotropic cytotoxic T-cell lymphoma? Acta Derm Venereol 95: 1024-1025, 2015.

2．Tada K, Higashi Y, Uchida Y, Kawai K, Nakao K, Misono T, Shinmura M, Kanekura T. Bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation with mucocutaneous pigmentation. J Dermatol 42: 1183-1186, 2015.

3．Baba A, Yonekura K, Takeda K, Kawai K, Kanekura T. Darier's disease with esophageal involvement. Acta Dermatovenerol Croat 23: 218-219, 2015.

4．Higashi Y, Tada K, Shimokawa M, Kawai K, Kanekura T. Elevation of serum KL-6 level in patients with psoriasis treated with anti-TNF-alpha therapy. Clin Exp Dermatol 41: 88-90, 2016.

5．Aoki M, Matsushita S, Kawai K, Kanekura T. Scleromyxedema clinically resembling to scleroderma. Indian J Dermatol 61: 127, 2016.

邦文著書

1．岩月啓氏，土田哲也，菅谷　誠，古賀　弘，宇原　久，清原隆宏，竹之内辰也，安齋眞一，梅林芳弘，門野岳史，神谷秀喜，幸野　健，鹿間直人，堤田　新，中村泰大，並川健二郎，八田尚人，村田洋三，師井洋一，河井一浩，大塚幹夫，濱田利久，米倉健太郎，島内隆寿，谷　守，野崎浩二，伊豆

津宏二，戸倉新樹，瀬戸山　充，長谷哲男．日本皮膚科学会・日本皮膚悪性腫瘍学会　編，科学的根拠に基づく皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン，第２版．金原出版，2015.

その他

１．河井一浩．木戸病院皮膚科の診療体制と診療機器．木戸病院広報誌　結　26：１，2015.

２．河井一浩．ジェネリックのぬりぐすりについて．新潟医療生協 467：３，2015.

国際学会発表

１．Katsuya H, Shimokawa M, Ishitsuka K, Kawai K, Amano M, Utsunomiya A, Hino R, Hanada S, Jo T, Tsukasaki K, Moriuchi Y, Sueoka E, Yoshida S, Suzushima H, Miyahara M, Yamashita K, Eto T, Yamanaka T, Suzumiya J, Tamura K. Prognostic index forchronic and smoldering types adult T-cell leukemia／lymphoma. 2015 ASCO Annual Meeting (2015／5／29-6／2, Chicago)

２．Hinde E, Foster A, Imanichi A, Schneider MR, Kawai K, Matos TR, Haslam I, Paus R. The sebaceous gland show differential responses to spontaneous and induced cycling. 45th Annual ESDR Meeting (2015／9／9-12, Rotterdam)

３．Ishitsuka K, Katsuya H, Shimokawa M, Kawai K, Suzumiya J, Tamura K. Prognostic index for chronic and smoldering types adult T-cell leukemia／lymphoma. 8th Annual T-cell Lymphoma Forum (2016／1／28-30, San Francisco)

国内学会発表

１．東　裕子，藤井一恭，河井一浩，平木　翼，金蔵拓郎．右上眼瞼に生じた末梢性Ｔ細胞リンパ腫，非特定の１例．第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会CPC（2015／７／３－４，大阪）

２．Katsuya H, Shimokawa M, Ishitsuka K, Kawai K, Amano M, Utsunomiya A, Hino R, Hanada S, Jo T, Tsukasaki K, Suzumiya J, Tamura K. Prognostic index for chronic and smoldering type adult T-cell leukemia／lymphoma. 第77回日本血液学会学術集会（2015／10／16－18，金沢）

３．藤永瑞穂，生野知子，石川一志，島田浩光，波多野　豊，梨本佑子，幸野和洋，中村栄男，馬場淳徳，河井一浩，金蔵拓郎，米倉健太郎，藤原作平．Transformationを経て全身リンパ節浸潤を来たした皮膚原発細胞傷害性Ｔ細胞リンパ腫の１例．第67回日本皮膚科学会西部支部学術大会（2015／10／17－18，長崎）

４．地村　望，東　裕子，吉満　誠，義岡孝子，藤井一恭，河井一浩，谷本昭英，金蔵拓郎．メトトレキサート関連リンパ腫様肉芽腫症の１例．第67回日本皮膚科学会西部支部学術大会（2015／10／17－18，長崎）

５．Hatanaka M, Higashi Y, Kawai K, Su J, Zeng W, Chen X, Kanekura T. CD147 deletion induces the phosphorylation of EGFR by dow regulating cdc25c. 第29回表皮細胞研究会（2015／11／14, 佐賀）

学会活動

◇河井一浩

・日本研究皮膚科学会（評議員）

・日本皮膚悪性腫瘍学会（評議員）

・日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会（代議員）

・皮膚悪性リンパ腫ガイドライン策定委員

・J Dermatol（Section Editor）

学会座長

◇河井一浩

・第31回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会一般演題座長，CPCリンフォーマ　オーガナイザー（2015／7／3－4，大阪）

Journal Review

◇河井一浩

・Scientific Reports（2編）

・J Invest Dermatol（1編）

・J Dermatol Sci（1編）

・Exp Dermatol（1編）

・J Dermatol（42編）

・日皮会誌（1編）

受賞

◇河井一浩

・Outstanding Reviwer（J Dermatol Sci）

研究

◇河井一浩

・鹿児島大学大学院医歯学総合研究科客員研究員

研究費

◇河井一浩（代表）

・平成27－29年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号
皮膚におけるIL-13産生T細胞の分化機構

学生教育・講義

◇河井一浩

・鹿児島大学医学部非常勤講師

・鹿児島大学医学部M4講義「湿疹・皮膚炎」（2015／6／8）

院内活動

◇佐藤信輔

・褥瘡対策委員

◇河井一浩

・研究部長

・皮膚科部長

・基幹型臨床研修病院管理委員

・医療情報システム管理運営委員

・地域包括室会議委員

【耳鼻咽喉科】

１．活動報告

診療体制

基本的に、常勤医師１人の体制で診療しているが、2015年７月より毎週月曜午前、および、第２・第４土曜の午前に新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科医師が１名代診医として診療した。

外来診療

平日および第２・第４土曜の午前に１診体制で診療している。2015年度の外来患者数は延べ7,354人（１日平均27.3人）であった。より正確な診断と治療を心掛け、必要と思われる検査は可能な限り行った。ガイドラインが作成されている疾患については、それに沿った治療を行った。特に、顔面神経麻痺については、ガイドラインに沿って重症度別に治療法を選択することとし、２年前まで当院では行っていなかったENoG（予後判定のための電気生理学的検査）を開始し、継続した。また、めまいなどの慢性疾患の患者に対し、漫然と同じ処方を続けることを避け、常に患者の状態に合った処方となるよう配慮した。

入院診療

2015年度の入院患者数は344人（延べ人数1,657人、１日平均4.5人）で、平均在院日数は4.8日であった。当科では１泊２日の検査入院、「終夜ポリソムノグラフィー（睡眠時無呼吸の検査）」を行っているが、2015年度は206人であり、入院患者数の約６割を占めていた。疾患としては、多い順に、めまい、扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎、慢性副鼻腔炎、顔面神経麻痺、突発性難聴、急性副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症、慢性中耳炎、外リンパ瘻、その他であった。

手術

2015年度の手術件数は121件であった。手術室での手術件数は45件（36症例）であった。手術室で行った45件中29件が鼻副鼻腔疾患に対する手術であった。新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉・頭頸部外科より毎週１名が助勤として来院し、２名で手術を行った。また、川名クリニックからの局所麻酔手術依頼を受け入れ、同クリニック院長が術者、野村が助手として４件の手術を行った。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

１．野村智幸．上越頭頸部疾患懇話会学術講演（2015／11／７，上越市）

その他

院内活動

◇野村智幸

・地域包括室会議委員

・備品・医療材料購入委員会委員

・クリニカルパス委員会委員

【眼科】

1．活動報告

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【放射線科】

１．活動報告

診療体制

診療体制は、常勤の放射線診断医１名と非常勤医師１名及び遠隔画像診断にて当院で施行されCT・MRI・ＲＩ画像の画像診断を施行。

地域連携室を介しての地域開業医・病院の先生からの診療部放射線科依頼の画像検査・診断も担当し、2015年度は計73件（ＣＴ：53件　ＭＲＩ：20件）の検査・診断を施行。

２．　研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【歯科・口腔外科】

１．活動報告

診療体制

一般歯科の鈴木、口腔外科の星名、摂食嚥下リハビリテーションの福原の３人の常勤歯科医師で外来診療を行っている。

口腔外科は入院診療も行っている。

歯科

口腔衛生管理、口腔疾患の早期発見、早期治療に努め、定期健診を行っている。

口腔外科

平成27年度の近隣開業歯科から口腔外科への紹介は外来248名、入院15名と増加傾向にあり、紹介内容は抜歯、有病者、高齢者の歯科治療、嚢胞性疾患の治療、口腔粘膜疾患や口腔腫瘍の診断などが多い。病院歯科として開業歯科からのニーズに応えられるように診療を行っている。

また、大学からの依頼を受けて終末期口腔癌の緩和ケアも積極的に受け入れている。医科入院患者の口腔ケアは歯科衛生士とカルテカンファレンスを行い、病状を把握した上で行っている。

摂食嚥下リハビリテーション：

リハビリ科の言語聴覚士や病棟看護師など他職種と連携しリハビリを行っている。

平成27年度の嚥下内視鏡検査は374件、嚥下造影検査は32件であった。

また、近隣の病院と連携して、摂食嚥下障害を持った方が退院後もスムーズに食事を安全に摂取できるようなシステムを構築することを目指している。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．星名由紀子，林　孝文，山﨑　学，丸山　智．ステロイド性骨粗鬆症に投与されたデノスマブによる顎骨骨髄炎の１例．第41回日本口腔外科学会北日本支部学術集会（2015／６／27－28，札幌）

２．小島　拓，長谷部大地，星名由紀子，林　孝文，丸山　智，山﨑　学，小林正治．口蓋に発生した小細胞癌の１例．第60回日本口腔外科学会総会・学術大会（2015／10／16－18，名古屋）

講演

１．福原孝子．誤嚥性肺炎を予防するための口腔に関する基礎知識．新潟高齢者の栄養と摂食を支える会講演会（2015／５／23，新潟）

２．福原孝子．摂食嚥下障害と対応．医療福祉大健康栄養学科講義（2015／６／30，新潟）

３．福原孝子．口腔ケアをもう一度考える．西新潟中央病院院内勉強会（2015／７／14，新潟）

４．福原孝子．当院 NST 摂食嚥下チームの活動．三条病診連携の会講演会（2015／10／22，三条）

その他

勉強会

１．福原孝子．嚥下の基本と食事のポイント．ほほえみの里勉強会（2015／６／23，新潟）

２．福原孝子．お口の健康について．新潟医療生協保健委員基礎講座（2015／12／17，新潟）

３．福原孝子．側臥位での摂取のポイント．なじょも勉強会（2016／１／７，新潟）

【石山診療所】

１．活動報告

診療体制

常勤医１名、短時間勤務医３名で診療を行っている。

外来診療

平成27年７月より丸山が加わり、診療体制が変更された。一診は、丸山が平日の終日外来を行い、二診は、木戸病院より医師を派遣して頂き診療を行っている。内科は、太田隆志先生（木曜日午前)、多田則義先生（水曜日午後)、皮膚科は、佐藤信輔先生（月、火、金曜日午後）に診療を行って頂いている。

一般診療は、午前９時から12時まで、午後３時から午後５時30分まで行い、午後１時から３時まで訪問診療を行っている。

平成27年度の外来患者延べ数は、内科 10,462人、皮膚科 3,021人であった。

当診療所から他院への紹介は106件あり、うち92件（86％）は木戸病院への紹介であった（検査の委託は除く)。木戸病院の先生方、並びにスタッフの皆様には、深謝致します。

訪問診療を行った延べ患者数は25人であり、１日平均１～２件の訪問診療を行った。訪問診療対象患者は診療所近辺の方が多いが、最も遠い患家は月見町であった（図１)。

本年度、自宅での看取りは、２件であった。在宅診療は、主に診療所の２階にあった石山訪問看護ステーションと連携をとり対応した。特に自宅で看取りを行う場合、訪問看護導入により24時間体制で在宅医療の対応が可能であり、患者家族の安心につながったと考える。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

１．丸山貴広．最期に「生きていてよかった」と思えるために～在宅の看取りから思うこと～．石山診療所まつり（2015／７／５，新潟）

２．丸山貴広．最期に「生きていてよかった」と思えるために～在宅の看取りから思うこと～．大形総支部健康セミナー（2015／11／15，新潟）

３．佐藤みゆき．訪問診療について．第13回新潟医療生協実践発表会（2015／11／28，新潟）

その他

◇院内活動

・診療所の医師、看護師で院内BLS、ミニICLS研修を行った。

・平成28年度の診療所内視鏡室新設に向け、丸山、佐藤看護師長の研修を木戸病院内視鏡検査室に引

き受けていただいた。研修を勧めて頂いた山田明先生、また研修を承諾して頂き指導していただいた佐藤秀一先生、摺木陽久先生、横山恒先生、宮島さおり主任看護師、他内視鏡検査室のスタッフの皆様に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

図１．平成27年度 石山診療所訪問診療対象患者患家地図
（星印：患家）

【木戸クリニック】

１．活動報告

診療体制

常勤医１名、短時間勤務医４名で診療を行っている。

外来診療

平成27年４月より岸由美子先生が加わり、診療体制が変更された。内科の診療は原則２診体制で診療を行い曜日により１診体制（水曜午前、金曜午後、第２土曜日）または３診体制（月曜午後、第４土曜日）で診療を行っている。

月、木、第４の午前には矢田省吾先生、月曜の午後には岸由美子先生、火、金、第２・４土曜の午前と月、火、水曜の午後診療を八木寛朝先生に診療を行って頂いている。

皮膚科は、猪股成美先生（火、水、金曜日午後、第４土曜）に診療を行って頂いていた。

平成27年８月より診療休診になった際は石山診療所にて迅速に対応いただきましたこと感謝致します。

一般診療は、午前９時から12時まで（八木寛朝先生は８時30分～）、午後２時から午後５時（須永は２時30分～）まで行い、火曜の午後３時から４時まで八木寛朝先生により訪問診療を行っている。

平成27年度の外来患者延べ数は、内科 17,907人、皮膚科 477人であった。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

学会座長

◇須永隆夫

・第66回日本東洋医学会学術総会(2015／6／12－14, 富山)

講義

◇須永隆夫

・新潟大学医学部講義「環日本海医療論・東アジアの医療 環縫醫學と鍼灸治療」(2015／６／２)

・新潟大学医学部講義「漢方医学概論」(2015／７／６)

・新潟大学医学部講義「皮膚感覚と東洋医学」(2015／12／11)

・新潟大学歯学部講義「東洋医学概論」(2015／７／13)

2．看護部

1．活動報告

看護部院内研修会

・開催総数32回　延べ参加数562人

看護部署内学習会

・開催総数52回　延べ参加数800人

看護部院外研修

・延べ参加人数87人

実習受け入れ

・新潟看護医療専門学校
・新潟保健医療専門学校
・新潟医療福祉大学健康科学部看護学科
・国際メディカル専門学校
・国際メディカルテクノロジー専門学校

認定看護師資格取得

◇武田惇　　感染管理　　第15485号（公益社団法人日本看護協会　2015／６／21）
◇高橋栄子　慢性心不全看護　第16358号（公益社団法人日本看護協会　2015／６／21）

2．研究実績

論文・著書

学会発表

国内学会発表

１．天野友子，小島　祐，河田貴子，塩田登美子．退院支援にむけて取り組むべき看護問題と看護情報を考える第28回院内看護研究発表会（2015／８／22，新潟）
２．関根愛実，富山里佳，渡邉千春（共同研究者･新潟県立看護大学）．混合病棟で勤務する看護師の終末期ケアに対する困難感とやりがい．第28回院内看護研究発表会（2015／８／22，新潟）
３．村木由紀子，中川るりこ，本永浩美．予防接種についての子ども向けパンフレットの有効性の検証．第28回院内看護研究発表会（2015／８／22，新潟）
４．宮島さおり，逢坂裕美，小出奈緒子，竹原則子（共同研究者.新潟県立看護大学）．内視鏡による検査・治療過程において看護師が感じる危険因子．第28回院内看護研究発表会（2015／８／22，新潟）
５．宮島さおり，逢坂裕美，小出奈緒子．内視鏡による検査・治療過程において看護師が感じる危険因子．上越地域看護研究発表会・地域課題研究発表会（2015／９／26，上越市）
６．関根愛実，富山里佳．混合病棟で勤務する看護師の終末期ケアに対する困難感とやりがい．上越地

域看護研究発表会・地域課題研究発表会（2015／９／26，上越市）

７．宮下恵美，阿部フジミ．内服自己管理確立に向けてのフローチャートの有効性の検証．第27回新潟県看護協会看護学会（2015／11／27，新潟）

８．関根愛実，富山里佳．混合病棟で勤務する看護師の終末期ケアに対する困難感とやりがい．第46回日本看護学会学術集会（2015／９／２，福島）

講演

その他

院外活動

◇武田千秋

・新潟医療圏看護学生臨地実習推進協議会（運営委員）

・公益社団法人新潟県看護協会　ナースセンター事業委員会（運営委員）

◇丸山幸子

・公益社団法人新潟県看護協会　社会経済福祉委員会（運営委員）

3．医療安全管理室

1．活動報告

管理体制

医療安全管理室は医療安全と感染管理の２分野に分かれ、それぞれ１名の専従看護師が配置されている。主な活動としては院内における医療事故の防止・感染管理の役割を担う。また、両分野ともに加算を算定していることにより、多職種から構成されるチームとして活動し、カンファレンスや院内教育に力を注いでいる。近年は地域の医療の質向上のために新潟市東区の中核病院として院内の活動だけでなく、院外の活動にも積極的に参加している。

◇医療安全部門

主な活動内容

・医療安全管理委員会カンファレンス　１回／週
・リスクマネージャー会議　１回／月
・医療安全管理部門会議　１回／月
・患者サポートカンファレンス　１回／週
・看護部医療安全リンクナース会議　１回／月

院内職員研修会

４月　木戸病院　新人看護職員入職時研修
６月　新人看護職員：救急・AED研修
９月　救急・AED研修
９月　全職員対象研修会：２日間
　・エラーを防ぐ仕組みと仕掛け
　・2014年度インシデントのまとめと課題
10月　新人看護職員６ヵ月研修
12月　全職員対象研修会：４日間
　・院内暴力対策
　・医療事故調査制度
12月　ICLSコース

法人内施設研修

４月　新入職員医療安全研修会
８月　ほほえみの里きど　救急・AED研修

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1．三膳景子．看護職員再就職支援講演会「医療安全対策」．新潟県看護協会・新潟県ナースバンク（2015／12／8，新潟）

その他

院外活動

◇医療安全管理者　三膳　景子

公益社団法人新潟県看護協会　医療・看護安全委員

◇感染管理部門

主な活動内容

・ICTカンファレンス　　1回／週
・感染部門会議　　1回／月
・院内感染防止対策委員会　　1回／月
・感染防止対策加算地域連携施設間カンファレンス　4回／年
・感染防止対策地域連携加算　相互カンファレンス　2回／年
・看護部感染リンクナース会　　1回／月

感染対策研修会

院内職員研修

4月　新入職員研修会：病院における感染対策
7月　全職員対象感染研修会：全職員で感染対策に取り組む
12月　全職員対象感染研修会：インフルエンザの治療と感染対策

木戸地区感染対策講習会（2016／3／24）

HIV感染症の現状と感染対策（講師：新潟大学医歯学総合病院　田邊嘉也先生）

法人内施設研修

10月　ほほえみの里きど：ノロウイルス感染対策研修、感染対策ラウンド
11月　コープケアカレッジ（なじょも）：喀痰吸引研修「清潔保持と感染予防」

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

1．武田　惇．精神科領域における感染対策について．河渡病院感染対策研修会（2016／２／10，新潟）

その他

院外活動

◇会員：感染管理認定看護師　武田　惇

・専門職部会：感染管理ネットワーク新潟

・近隣病院からの感染管理に関するコンサルテーション業務（アウトブレイク支援など管理体制）

４．薬剤部

１．活動報告

平成27年度

・処方件数　　113件（１日平均）
・注射セット件数　136件（１日平均）
・服薬指導件数　390件（１ヶ月平均）
・抗がん剤調製件数　76件（１ヶ月平均）

実習生受入

・新潟薬科大学　Ⅰ期（５月11日～７月26日）１名
・新潟薬科大学　Ⅱ期（９月７日～11月22日）１名

学会・研修会への参加

６月２日　平成27年度第１回ＰＳＰ特別セミナー「薬剤安全セミナー」１名
８月１日　日本病院薬剤師会関東ブロック第45回学術大会　１名
11月14日　第22回新潟県薬剤師のための感染制御セミナー　１名
11月21日　第25回日本医療薬学会年会　３名

ＩＴＣ活動

７月　第１回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）前期全職員研修会
９月　感染防止地域連携施設相互チェック（下越病院）
10月　第２回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）
12月　後期全職員研修会
１月　第３回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）
３月　第４回感染防止加算連携施設間カンファレンス（加算Ⅱ　みどり病院）
　　木戸地区感染対策講習会

施設間カンファレンスと毎週金曜日ICTカンファレンスで抗菌薬使用状況について報告。
抗ＭRSA薬のTDMをほぼ実施。抗菌薬使用届提出率向上のため提出されていない処方医に文章で報告。

糖尿病教育入院

糖尿病教育入院６日目『お薬について』と７日目『個人服薬指導』を担当しています。教育入院の前後にも服薬指導を実施できるよう努めています。

リスクマネージャー活動

平成27年度１年間での薬剤部におけるインシデント報告は総数19件、うち確認忘れ５件、確認不十分14件となっています。

病棟業務中のインシデント報告もあがっており、限られたスタッフでスムーズに業務を引き継ぐには病棟の独自ルールを排除し、院内共通ルールを順守することが重要と考えます。

またプレインシデントとしては総数49件、うち５割強が計数間違い、２割強が規格間違いでした。患者間違いは発生していませんが、薬袋（名札）表記間違いが２件ありました。

いずれも薬剤部内の監査部門にて訂正が行われました。

プレインシデント・インシデント共に、システム・マニュアルに不備はなく、すべき事を確実に行えば防げる事象でした。思い込み・先入観を排除し、声出し・指差し確認を確実に行っていきます。

ＮＳＴ活動

対象患者の点滴及び内服薬の動向を確認し、毎週水曜日に行われるNST回診で情報の提供や改善策があれば提示を行いました。

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

５．診療技術部

【検査科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【病理検査科】

１．活動報告

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

【放射線科】

1．活動報告

スタッフ構成

診療放射線技師　11名（男性９名　女性２名）

看護師　　１名

撮影装置

一般撮影装置	４台
Ｘ線透視装置	２台
ＣＴ装置（64列）	１台
ＭＲＩ装置（1.5Ｔ）	１台
核医学診断装置	１台
心臓血管撮影装置	１台
骨密度測定装置	１台
Ｘ線乳房撮影装置	１台
パントモ・セファロＸ線撮影装置	１台
術中外科用Ｘ線透視装置	１台
動型Ｘ線撮影装置	３台

業務実績

検査件数

一般撮影（マンモ撮影含む）	16,891件
健診（胸部・マンモグラフィー）	10,073件
ポータブル撮影	3,801件（内手術室　385件）
手術室透視	147件
骨密度検査	1,343件（内健診　443件）
胃・注腸検査	3,948件（内胃健診　3,679件）
CT検査	7,116件（内造影剤使用　2,737件）
MRI検査	2,843件（内造影剤使用　352件）
核医学RI検査	351件
血管造影検査	291件（循環器208件・消化器45件・その他38件）

紹介・委託件数

紹介件数

CT検査	53件
MRI検査	20件
RI検査	０件

委託件数

CT検査　　11件
MRI検査　429件
RI検査　　15件

その他

班会

１件参加 「放射線について」

放射線科会議

毎月1回

・インシデント報告・討議
・各所属委員会からの報告、討議
・各モダリティからの報告、方針討議等

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇主任診療放射線技師　小熊　義則

・（一社）新潟県診療放射線技師会理事、編集・広報部委員として活動中
・「診療放射線技師の業務拡大」に伴う講習会講師として活動中

◇主任診療放射線技師　当銀　克巳

・新潟アンギオ画像研究会　世話人として活動中

【リハビリテーション科】

1．活動報告

理学療法部門

定例勉強会：毎月１回　30分程度

症例検討会：毎月１回　15分程度

言語聴覚療法部門・訪問リハ部門

定例勉強会：毎月１回

有志による朝の勉強会：毎日　20分程度

2．　研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇理学療法士　江川真司

新潟県理学療法士会学術局員・企画運営

年１回の研修準備委員長をしています

◇言語聴覚士　本田俊一

第４回新潟県言語聴覚士学術大会・企画運営

新潟県言語聴覚士会学術局研修会責任者・企画運営

【栄養科】

１．活動報告

人員構成：管理栄養士　５名　　調理師　13名　　調理員　３名　　事務員　１名

給食数：平成27年度 216,835食（前年比101%） 特別食加算算定 65,056食（算定率30%）

栄養管理計画書作成数：6,867枚（入院時 2,579枚／再評価 2,332枚／退院時 1,956枚）

栄養指導

集団：糖尿病教育入院１週間コース　年間９回実施（参加者71名／年）

糖尿病・肥満教室（１日体験型・昼食付） 年間12回実施（参加者外来47名／年・入院25名／年）

個別：入院時食事指導　428件（糖尿病・心疾患・胃術後・慢性腎臓病・ＥＳＤ後・嚥下障害等）

外来食事指導　2341件（透析予防療養指導219件／年　外来透析患者指導346件／年含む）

回診：ＮＳＴ回診１回／週　褥瘡回診２回／月

調査：嗜好調査：４回／年　残食調査：１回／月

カンファレンス：ＮＳＴ１回／月

実習生受け入れ

・管理栄養士養成課程：北里大学保健衛生専門学院　　４週間　１名

新潟県立大学　　２週間　２名

・調理師養成課程：新潟調理師専門学校：　２週間×年３回　　計５名

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

院外活動

◇診療技術部長　山賀新一郎

・新潟市病院給食研究会副理事長　企画運営

◇管理栄養士　山口朝子

・新潟県臨床栄養研究会役員　企画運営

・新潟小児糖尿病キャンプコアスタッフとして企画運営（2015／８／17～19，新潟）

・スタッフ・学生向け事前学習会「１型糖尿病の子供の栄養」講義（2015／７／18，新潟）

・「最新のトピックス～食事のお悩みＱ＆Ａ」（2016／３／29，新潟）

◇管理栄養士　山岸彰子

・新潟市糖尿病対策推進協議会主催「糖尿病ミニ講座」講師

・「１人暮らしの方へ～具体的な食事の工夫・コツについて」（2015／７／26，新潟）

◇日本医療福祉生協連主催

・「すこしおレシピコンテスト2015」佳作入賞

その他

院内研究会・学習会・勉強会

科内学習会・ミーティング

・月２回30分程度（会議内容の伝達、班活動の発表や討議、院外研修会の伝達講習など）

健康づくり委員会事業への参画

・診療技術部長　山賀新一郎

「味噌汁塩分チェックと尿チェック」すこしお健康教室（2015／10／30，なじょも）参加者10名

・診療技術部長　山賀新一郎

健康いきいき教室（2015／12／８，ｗｉｔｈ）参加者16名

・診療技術部長　山賀新一郎、調理師長　桜井正

減塩メニュー調理実習　すこしお健康教室（2016／１／29，なじょも）参加者25名

取得資格

◇新村友子

・日本糖尿病療養指導士

◇山口朝子

・日本糖尿病療養指導士

・病態栄養認定管理栄養士

・ＮＳＴ専門療法士

◇山岸彰子

・新潟県地域糖尿病療養指導士

・ＮＳＴ専門療法士

学会所属

◇山口朝子

・日本静脈経腸栄養学会：山口朝子　山岸彰子

・日本病態栄養学会：山口朝子

◇山岸彰子

・日本静脈経腸栄養学会

【臨床工学科】

１．活動報告

臨床工学科体制

臨床工学技士８名

2015年度業務実績

・医療機器保守管理業務（修理・点検等）

・手術室業務

眼科白内障手術

眼科硝子体手術

整形外科関節鏡手術

整形外科自己血回収装置操作

耳鼻咽喉科内視鏡下手術

麻酔器点検

・ペースメーカー業務

植込み業務（電池交換含む）

外来フォローアップ業務

遠隔モニタリング業務

・透析業務

透析診療（月・水・金）午前・夜間

（火・木・土）午前・午後

・特殊療法業務

（CHDF・腹水濾過濃縮再静注法・エンドトキシン吸着・ビリルビン吸着・LDL吸着・白血球除去療法）

・透析用監視装置（定期点検・修理等）

実習生受入

・国際メディカル専門学校（６週間）　２名

・新潟医療福祉大学（４週間）　３名

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

学会参加

・宮川　晋臨床工学士，石橋剣斗臨床工学士．第60回日本透析医学会学術集会・総会（2015／６／26－28，横浜）

・宮川　晋臨床工学士，第57回新潟透析懇話会（2015／４／26，新潟）

院内研究会・学習会・勉強会

・2015／05／13　輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会　　新人看護師対象　23名参加

・2015／11／26　ＮＰＰＶ勉強会　　新人看護師対象　17名参加

・2015／12／03　酸素テント勉強会　　看護師対象　14名参加

・2016／01／27　人工呼吸器Servo勉強会　　新人看護師対象　17名

6．事務部

1．活動報告

事務部は、医事課・診療事務課・庶務課の３課で構成され、診療報酬請求事務、医師事務作業補助および医局事務、院内の庶務に係る業務を行ってきました。

2015年度は病院機能を強化するために病棟の再編成を行いました。第１段階として、急性期機能のための一般病棟、回復期機能のための回復期リハビリテーション病棟、療養機能のための療養病棟を開設し、病棟機能を強化しました。2016年度には第２段階として療養病棟を退院支援に特化した地域包括ケア病棟に変更し、更なる病棟機能の強化を行う予定となっています。

また、2016年度からDPC請求（診断群分類包括支払）を開始するため、自院だけでなく他院の診療データを含め検討することで、クリニカルパスの変更の提案を行いました。

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

7．地域包括部

1．活動報告

紹介件数

内　　科	3,443件（入院1,039件）	耳 鼻 科	375件（入院158件）	産婦人科	219件（入院 52件）
小 児 科	264件（入院 193件）	整形外科	330件（入院127件）	外　　科	312件（入院153件）
皮 膚 科	245件（入院　17件）	眼　　科	234件（入院 51件）	泌尿器科	223件（入院　2件）
心療内科	3件	神経内科	299件（入院 59件）	歯　　科	248件（入院 15件）

紹介率・逆紹介率推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
紹介率	35.2%	32.1%	41%	46%	53.4%
逆紹介率	17.3%	15.4%	20.2%	27%	30.2%

医療相談状況

援助内容

受療に関する	678件
経済問題	12件
背景把握	106件
不適応援助	7件
諸問題援助	398件
制度利用	386件
社会復帰	2,398件
アフターケア	39件
その他	219件
合　計	4,243件

援助方法

面接	1,811件
院内連絡調整	213件
電話・文書	2,218件
院外訪問	1件
合　計	4,243件

病院　居宅介護支援事業所状況

ケアプラン新規受け入れ	62件
終了数	28件

介護保険認定調査数

更新	92件
変更	11件

レセプト数・利用者介護度

要支援１	105件
要支援	132件
要介護	228件
要介護２	222件
要介護３	217件
要介護４	128件
要介護５	121件
申請中	20件

２．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

◇地域医療支援関連業務

・第９回東新潟NHCAP懇話会（2015／６／10）
・第10回東新潟NHCAP懇話会（2015／11／18）
・木戸地区感染対策講習会（2015／10／７）

◇医療連携研修会

・第18回東新潟循環器研究会（2015／６／10）
・第19回東新潟循環器研究会（2015／11／11）
・側臥位ポジションの食事介助ポイント（2016／１／７）
・心不全治療勉強会（2016／２／24）

8．健診センター

1．活動報告

体制

常勤医師３名、保健師２名、看護師３名（非常勤)、診療放射線技師１名、事務職員10名

健診実績：11,237人

1．日帰りドック：平日午前、第２・第４土曜日午前

・実績：3,386人

2．１泊２日ドック：第２・第４金曜日

・実績：６人

3．特定健診：平日午前、第２・第４土曜日午前、木曜日14：00～15：00

・実績：2,377人

4．特定保健指導

・実績：100人

5．その他健診

・実績：5,368人

日本総合健診医学会　優良総合健診施設認定【更新】実地審査

・実地審査日：2015年10月28日（水）　午後２時30分～

・実地審査結果：2015年12月１日付で「優良総合健診施設として認定の継続に問題の無い施設」として、本総合健診医学会　優良総合健診施設認定　実地審査完了証明書が発行された。

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

9．研究部

1．活動報告

研究部は、診療録･図書の管理を行っており病歴担当３人、図書担当１人の４人体制となっている。業務内容としては診療録の監査、病名および処置のコーディング業務、病名検索、地域がん登録、各種QIの作成、NCD登録補助業務、紙カルテの貸出、蔵書管理、文献検索補助、木戸病院医誌の編集･発行等を行っている。

2016年度よりDPC対象病院になるにあたり様式１の精度管理、DPCデータを使った分析等を行った。

2016年１月より全国がん登録が法制化され、運用方法等の検討を行い、またセミナー等にも積極的に参加した。

診療録の量的・質的点検について課題は残るものの2014年度より新設された診療録管理加算１取得に向けて体制を整備している。

実習生受入：

新潟医療福祉大学（１週間）　　３名

国際メディカル専門学校（２週間）　２名

2．研究業績

論文・著書

学会発表

講演

その他

◇蔵書数

単行書　2455冊

和雑誌　82タイトル

洋雑誌　18タイトル

◇文献検索システム

医中誌Web. Ver.5

最新看護索引Web

◇定期購読雑誌一覧

洋雑誌

American Journal of Obstetrics Gynecology

PEDIATRICS

Clinical Journal of American Society of Nephrology

American Journal of Cardiology
Circulation
Journal of American College of Cardiology
Gastroenterology
Journal of Bone & Joint Surgery (American)
Journal of Bone & Joint Surgery (British)
Journal of Orthopadic Science
Lancet
Diabetes
Diabetes Care
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism
Journal of American Academy of Dermatology
Annals of Neurology
Laryngoscope
New England Journal of Medicine

和雑誌
Infection Control
Innervision
Journal of Clinical Rehabilitatin
the inter J of Periodontics and Restorative Dentistry（和訳）
胃と腸
医療判例解説
栄養と料理
おはよう21
オペナーシング
画像診断
眼科ケア
看護
関節外科
肝胆膵
きょうの健康（２冊）
クインテッセンスデンタルインプラントロジー
クリニカル・エンジニアリング
ケアマネージャー
月刊　新医療
月刊　薬事
検査と技術
呼吸

呼吸と循環
呼吸器内科
コミュニティケア
作業療法ジャーナル
産婦人科の実際
耳鼻咽喉科・頭頚部外科
手術
消化器外科
消化器内視鏡
小児科診療
小児科臨床
小児内科
助産雑誌
神経内科
心臓
腎と透析
整形・災害外科
整形外科
脊椎・脊髄ジャーナル
胆と膵
デルマ
デンタルハイジーン
透析ケア
日本医事新報
日本胸部臨床
日本歯科評論
乳癌の臨床
ハートナーシング
皮膚科の臨床
病理と臨床
ヘルスケア・レストラン
保険診療（２冊）
補綴臨床
ホルモンと臨床
メディカルテクノロジー
薬局
理学療法
理学療法ジャーナル
臨床栄養

臨床眼科
臨床外科
臨床消化器内科
臨床と微生物
臨床婦人科産科
地域保健
日経ヘルス・ケア
Medical　Rehabilitation
リクリエ
臨床画像
福祉新聞
薬事日報（８～７月）
ケアワーク
月刊ＤＡＹ
地域連携入退院支援
継続看護時代の外来看護
看護きろくと看護過程
税務通信
ニュースレター
労働基準広報
生活協同組合研究

Ⅴ．その他活動状況等

【１．院内研究会・研修会・講習会・講演会】

１．演　題：泌尿器がん最近の話題　東新潟地区学術講演会
　　講　師：新潟大学医歯学総合病院腎泌尿器病態学分野　冨田善彦
　　開催日：2015／７／９

２．演　題：全職員で対応する感染対策―基本を再確認する―　院内感染対策研修会
　　講　師：感染管理認定看護師　武田　惇
　　開催日：2015／７／24

３．演　題：全職員で対応する感染対策―基本を再確認する―　院内感染対策研修会
　　講　師：感染管理認定看護師　武田　惇
　　開催日：2015／７／31

４．演　題：がん疼痛治療のスキルアップ　レスキュー薬使い方の達人になる！
　　How to がん疼痛（Web Lecture）
　　講　師：副院長　山田　明
　　開催日：2015／10／７

５．演　題：ＤＰＣに向けて何をするのか―医療の質と経営の質の向上を目指して　第134回院内講演会
　　講　師：佐久総合病院副統括院長　西澤延宏
　　開催日：2015／９／14

６．演　題：胃拡張所見で入院したが、肺塞栓を発症し入院当日に死亡した症例　デスカンファレンス.
　　講　師：副院長　山田　明
　　開催日：2015／11／５

７．演　題：心房細動などの不整脈カテーテル治療の実際等　第19回東新潟循環器研究会
　　講　師：新潟大学医歯学総合病院循環器内科　助教授　和泉大輔
　　共　催：アステラス製薬株式会社
　　開催日：2015／11／11

８．演　題：①ミニレクチャー「インフルエンザの治療と感染対策」②グループ討議［介護施設におけるインフルエンザ対策ワークショップ］　第10回東新潟ＮＨＣＡＰ懇話会
　　講　師：桑名病院地域医療連携室
　　開催日：2015／11／18

9．演　題：直腸癌治療の今後は？整理して考えてみよう
　　TAIHO Web Lecture for Colorectal Cancer.
　講　師：九州大学大学院外科分子治療学　沖　英次
　開催日：2015／12／1

10. 演　題：インフルエンザ蔓延防止に向けての取り組み　医療安全・感染対策研修会
　講　師：感染管理認定看護師　武田　惇
　開催日：2015／12／1

11. 演　題：「医療事故調査制度」について暴力被害への対応　医療安全・感染対策研修会
　講　師：医療安全対策管理室長看護師　三膳景子
　開催日：2015／12／1

12. 演　題：インフルエンザ蔓延防止に向けての取り組み　医療安全・感染対策研修会
　講　師：感染管理認定看護師　武田　惇
　開催日：2015／12／2

13. 演　題：「医療事故調査制度」について暴力被害への対応　医療安全・感染対策研修会
　講　師：医療安全対策管理室長看護師　三膳景子
　開催日：2015／12／3

14. 演　題：インフルエンザ治療と感染対策　医療安全・感染対策研修会
　講　師：呼吸器内科部長　成田淳一
　開催日：2015／12／3

15. 演　題：「医療事故調査制度」について暴力被害への対応　医療安全・感染対策研修会
　講　師：医療安全対策管理室長看護師　三膳景子
　開催日：2015／12／3

16. 演　題：インフルエンザ治療と感染対策　医療安全・感染対策研修会
　講　師：呼吸器内科部長　成田淳一
　開催日：2015／12／4

17. 演　題：「医療事故調査制度」について暴力被害への対応　医療安全・感染対策研修会
　講　師：医療安全対策管理室長看護師　三膳景子
　開催日：2015／12／4

18. 演　題：私見、回復期病棟・退院支援・地域包括ケアシステム　第135回院内講演会
　講　師：猫山宮尾病院診療部リハビリテーション科　本間　毅

開催日：2015／12／10

19. 演　題：日常よく見るめまいの診断と治療　第136回院内講演会
講　師：新潟大学医歯学総合病院耳鼻咽喉科頭頸部外科分野教授　堀井　新
開催日：2016／２／18

20. 演　題：木戸病院の今後の心不全チーム医療慢性心不全看護認定看護師の実践と課題
心不全治療勉強会 ― 高齢者心不全の対策を考える ―
講　師：木戸病院慢性心不全看護認定看護師　高橋栄子,
燕労災病院慢性心不全看護認定看護師　坂井和泉
共　催：大塚製薬株式会社
開催日：2016／２／24

21. 演　題：新入職員を迎えるにあたって、今時の学生を知ろう
第137回院内研修会　木戸地区感染対策講習会
講　師：新津医療センター病院看護長　本間美知子
開催日：2015／３／18

22. 演　題：ＨＩＶ感染症の現状と感染対策　木戸地区感染対策講習会
講　師：新潟大学医歯学総合病院感染管理部副部長　田邉嘉也
開催日：2015／３／24

【2．看護部院内研修会】

【看護部新人教育】

1．演　題：新人研修―トランスファー
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／4／28

2．演　題：新人研修―輸液ポンプ・シリンジポンプ3ヶ月評価＆急変時の対応
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／5／13

3．演　題：3ヶ月評価＆急変時の対応
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／6／25

4．演　題：心電図学習会
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／7／16

5．演　題：インスリン注射について
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／8／26

6．演　題：輸血療法
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／9／16

7．演　題：6ヶ月研修・医療安全
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／10／30

8．演　題：バイパス研修会
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／11／25

9．演　題：クリスマス会
　　対象者：新人看護師
　　開催日：2015／12／11

10. 演　題：人工呼吸器（サーボ）
対象者：新人看護師
開催日：2016／１／27

11. 演　題：12ヶ月評価
対象者：新人看護師
開催日：2016／２／24

【看護部院内研修会】

１．演　題：心不全とはなんだろう～病態生理・治療の基本
対象者：看護職員
開催日：2015／５／19

２．演　題：心不全とはなんだろう～病態生理・治療の基本
対象者：看護職員
開催日：2015／５／20

３．演　題：心不全とはなんだろう～病態生理・治療の基本
対象者：看護職員
開催日：2015／５／21

４．演　題：排泄ケア講習会
対象者：全看護部職員
開催日：2015／５／28

５．演　題：法的責任と看護記録
対象者：看護職員
開催日：2015／６／12

６．演　題：事例のまとめ方
対象者：２年目看護職員
開催日：2015／６／16

７．演　題：排泄ケア講習会
対象者：全看護部職員
開催日：2015／６／25

８．演　題：プリセプター研修会（第２回）
対象者：2015年度のプリセプター

開催日：2015／７／２

９．演　題：卒後３年次研修オリエンテーション
対象者：生協３年次研修参加者
開催日：2015／７／２

10. 演　題：看護必要度研修会～初級編～
対象者：全看護職員
開催日：2015／７／10

11. 演　題：主任・師長研修会
対象者：看護師長・主任看護師
開催日：2015／７／11

12. 演　題：看護必要度研修会～応用編～
対象者：全看護職員
開催日：2015／８／20

13. 演　題：第29回看護研究発表会
対象者：全看護職員
開催日：2015／８／26

14. 演　題：看護必要度研修会～応用編～
対象者：全看護職員
開催日：2015／８／26

15. 演　題：プリセプター研修会（第３回）
対象者：2015年度のプリセプター
開催日：2015／11／16

16. 演　題：プリセプター研修会（第４回）
対象者：2015年度のプリセプター
開催日：2016／３／15

17. 演　題：プリセプター研修会（第１回）
対象者：2015年度のプリセプター
開催日：2016／３／16

【看護部教育実習実施】

1．演　題：穿刺トラブルの対応、原因と対策
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2015／４／13

2．演　題：腎性貧血　ロカルトロール中について
　　対象者：人工透析室
　　開催日：2015／４／24

3．演　題：介護保険制度について
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2015／5／7

4．演　題：血行動態モニタリングとスワンガンツカテーテル
　　対象者：８階病棟
　　開催日：2015／５／７

5．演　題：小児救急対応について
　　講　師：小児科　堀口　祥
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／６／５

6．演　題：インスリン注射穿刺時の注意点・患者指導方法
　　対象者：５階病棟
　　開催日：2015／６／10

7．演　題：医療側からのコミュニケーションの注意点
　　対象者：８階病棟
　　開催日：2015／６／10

8．演　題：ビックセルインフェニティ説明会
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2015／６／11

9．演　題：褥瘡に対する診療計画書について他
　　対象者：５階病棟
　　開催日：2015／７／８

10. 演　題：小児救急対応について
講　師：小児科　堀口　祥
対象者：全看護職員
開催日：2015／７／23

11. 演　題：レグパラ錠について
対象者：人工透析室
開催日：2015／７／29

12. 演　題：退院調整について　介護保険認定の流れ他
対象者：５階病棟
開催日：2015／８／12

13. 演　題：新グルテストNeoアルファ（血糖測定器について）
対象者：５階病棟
開催日：2015／８／18

14. 演　題：ＡＥＤ使用時の対応について
対象者：８階病棟
開催日：2015／８／21

15. 演　題：新グルテストNeoアルファ（血糖測定器について）
対象者：５階病棟
開催日：2015／８／21

16. 演　題：急変患者の挿管
対象者：８階病棟
開催日：2015／９／９

17. 演　題：看護記録について
対象者：５階病棟
開催日：2015／９／９

18. 演　題：緊急帝王切開時の動き方
対象者：６階病棟
開催日：2015／９／18

19. 演　題：看護必要度について
対象者：５階病棟

開催日：2015／９／29

20. 演　題：分娩時外回りと新生児の取扱い
対象者：６階病棟
開催日：2015／10／９

21. 演　題：アンカロンの使用について
対象者：７階病棟
開催日：2015／10／９

22. 演　題：アンカロンの使用について
対象者：７階病棟
開催日：2015／10／９

23. 演　題：回復期リハビリ病棟看護必要度について
対象者：４階病棟
開催日：2015／10／29

24. 演　題：回復期リハビリ病棟看護必要度について
対象者：４階病棟
開催日：2015／10／30

25. 演　題：慢性心不全に対するチーム医療～高齢者心不全～
対象者：全看護職員
開催日：2015／11／６

26. 演　題：神経内科疾患・治療について　脳梗塞
講　師：神経内科　高橋俊昭
対象者：５階病棟
開催日：2015／11／11

27. 演　題：鼻出血患者の対応について
講　師：耳鼻咽喉科　野村智幸
対象者：外来
開催日：2015／11／11

28. 演　題：慢性心不全に対するチーム医療～高齢者心不全～
対象者：全看護職員
開催日：2015／11／12

29. 演　題：慢性心不全に対するチーム医療～高齢者心不全～
　　対象者：全看護職員
　　開催日：2015／11／13

30. 演　題：離床センサーベットの正しい使用方法について
　　対象者：全看護職員
　　開催日：2015／11／17

31. 演　題：オムツ骨折と下肢の動かし方について
　　対象者：４階病棟
　　開催日：2015／11／30

32. 演　題：酸素テントの使用方法について
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／12／２

33. 演　題：病院レクリエーション講座　第１回
　　対象者：看護職員・看護助手・リハビリスタッフ
　　開催日：2015／12／８

34. 演　題：川崎病について
　　講　師：小児科　皆川雄介
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／12／８

35. 演　題：病棟におけるＡＥＤ使用について
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／12／９

36. 演　題：アンカロンの使用について
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／12／９

37. 演　題：神経内科の見かたについて
　　講　師：神経内科　高橋俊昭
　　対象者：７階病棟
　　開催日：2015／12／９

38. 演　題：血液透症例におけるカルニチン製剤補充療法
対象者：人工透析室
開催日：2015／12／28

39. 演　題：医療現場のレクの在り方
対象者：看護職員・看護助手・リハビリスタッフ
開催日：2016／１／12

40. 演　題：アクアマンティス・バイポーラシステムの使用方法
対象者：手術室・ＭＥ
開催日：2016／１／15

41. 演　題：麻酔器の説明
対象者：手術室・ＭＥ
開催日：2016／１／18

42. 演　題：レクリエーション学習会　第３回
対象者：看護職員・看護助手・リハビリスタッフ
開催日：2016／１／26

43. 演　題：レクリエーション学習会　第４回
対象者：看護職員・看護助手・リハビリスタッフ
開催日：2016／２／９

44. 演　題：大腿骨近位骨折術式の違いについて
対象者：６階病棟
開催日：2016／２／９

45. 演　題：大腿骨近位骨折術式の違いについて
対象者：６階病棟
開催日：2016／２／15

46. 演　題：感染対策について
対象者：５階病棟
開催日：2016／２／17

47. 演　題：人工骨頭挿入術危険肢位体交方法
対象者：６階病棟
開催日：2016／２／20

48. 演　題：レクリエーション学習会　第５回
対象者：看護職員・看護助手・リハビリスタッフ
開催日：2016／２／23

49. 演　題：人工骨頭挿入術危険肢位体交方法
対象者：６階病棟
開催日：2016／２／25

50. 演　題：腎性貧血ガイドライン改訂について
対象者：人工透析室
開催日：2016／２／29

51. 演　題：事例検討会
対象者：７階病棟
開催日：2016／３／29

【看護助手研修会】

１．演　題：看護助手トランスファー研修会
対象者：看護助手
開催日：2015／５／13

２．演　題：看護助手トランスファー研修会
対象者：看護助手
開催日：2015／５／20

３．演　題：看護助手研修
対象者：看護助手
開催日：2016／１／21